

平成29年度 宇治市特別職報酬等審議会 (第2回)

平成29年10月10日(火)

15時～17時

場所：宇治市職員会館

2階大会議室

議事次第

- 1 今後の審議予定について
- 2 第1回審議会の会議録について
- 3 審議等
 - (1) 市民満足度に関する調査等について
 - (2) 報酬等の公表方法（案）について
- 4 その他事務連絡等

裏面 [配布資料一覧]

[配布資料一覧]

議事次第

資料1 今後の審議予定について

資料2 第1回会議録（案）

資料3 市民満足度に関する調査等について

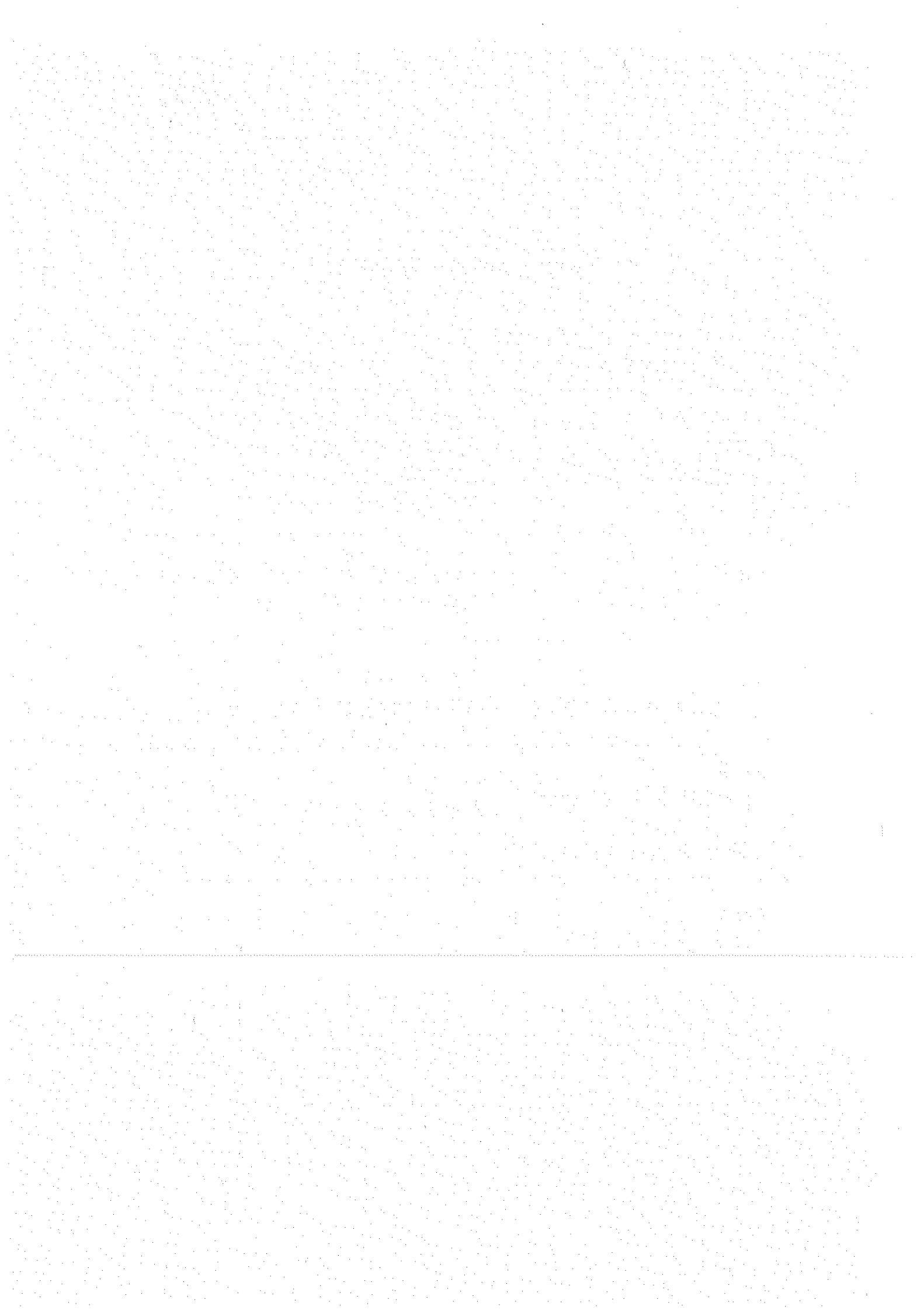
資料4 報酬等の公表方法（案）について

資料 1

平成29年10月10日

平成29年度 審議予定

回次・開催(予定)日	主な審議内容
第1回 平成29年 9月 7日(木)	<ul style="list-style-type: none">・他団体との比較状況について・一般職の給与の状況について・人事院勧告について・市の財政状況について
第2回 平成29年10月10日(火)	<ul style="list-style-type: none">・市民満足度に関する調査等について・報酬等の公表方法について
第3回 平成29年10月26日(木)	<ul style="list-style-type: none">・京都府人事委員会勧告について・答申の方向性について
第4回 平成29年11月 1日(水) または 平成29年11月 8日(水)	<ul style="list-style-type: none">・答申案について
答申 平成29年11月中下旬	



資料 3-1

市民満足度に関する調査等について

宇治市まち・ひと・しごと創生総合戦略 にかかる事業評価報告書(案) (平成28年度)

平成29年8月
宇治市

宇治市まち・ひと・しごと創生総合戦略について

1. 基本的な考え方

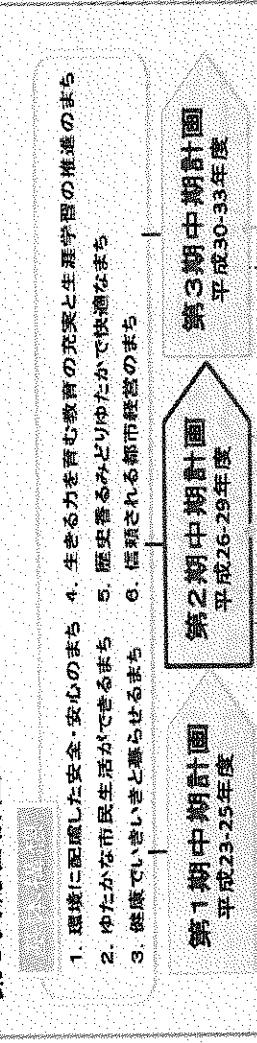
(1) 総合戦略の目的

人口減少及び少子高齢社会への迅速かつ的確な対応と、本市の特色を活かした施策の実施により、持続的に発展するまちを目指すことを目的とする。

(2) 総合戦略の位置付け

本市では、宇治市第5次総合計画（計画期間平成23～33年度）において「みどりゆたかな住みたい、住んでよかったです都市」を目指す都市像とし、お茶と歴史・文化の香るふるさと宇治をまちづくりの目標とする。この基本的な考え方方は「まち・ひと・しごと創生総合戦略」の基本的考え方等と合致している。また、平成25年度に策定した宇治市将来戦略プランでは、宇治市第5次総合計画第1期中期計画的基本的考え方等を受け、宇治を持続的に発展する都市とするため、宇治を経営する都市として、人口を増加させることによる将来的な影響、本総合戦略では、既に示されている宇治市第5次総合計画・宇治市将来戦略プランを踏まえたうえで、人口ビジョンにおける将来への影響、本総合戦略では、人口減少に歯止めをかけ、持続的に発展するまちを目指した今後の目標、基本的な方向、具体的な施策を示すものである。

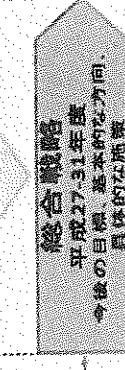
第5次総合計画



将来戦略プラン (具体的な実現の検討)

- 確固たるもの宇治ブランドの確立
- 地域をつくる新しい仕組みづくり
- まちの魅力を育む都市経営の強化
- 地域活性の活力づくり

人口ビジョン
人口の変化による
都市への影響、課題



※総合戦略の5つの基本目標
将来戦略プランの4つの方針に
『若い世代の就労・結婚・出産・子育ての希望をかなえる環境づくり』を追加

2. 事業評価

各基本目標における数値目標や具体的な施策における重要業績評価指標(KPI)の達成度により、取組の効果を毎年検証し、国の動向や社会経済情勢の変化などに対応した施策の見直しを図るなど、PDCAサイクルにより、総合戦略の実現性を高める。また、効果検証に際しては、斤内で評価を行うとともに、その妥当性・客観性を確保するため、市民及び産官学官労言等の有識者で構成される「宇治市まち・ひと・ごと創生総合戦略推進会議」で検証を行う。

※PDCAサイクル:Plan(計画)、Do(実施)、Check(評価)、Action(改善)の4つの視点をプロセスの中に取り組むことで、プロセスを不斷のサイクルとし、継続的な改善を推進するマネジメント手法。

3. 評価の対象事業

宇治市まち・ひと・ごと創生総合戦略の5つの基本目標に掲げる事業のうち、平成28年度に実施した事業(地方創生推進交付金及び加速化交付金対象事業を含む)について評価を行った。なお、同交付金は、国において事業効果を高めるため、外部有識者による効果検証を求められている。

4. 総合戦略の見直し

本市では、人口減少に歯止めをかけるため、平成28年度において総合戦略に掲げる基本目標に基づき、観光施策や子育て支援施策、産業振興施策をはじめ各種事業を実施した。その結果、人口減少幅は改善しているものの、人口は依然として減少している。そのような中、平成28年度に実施した転出入者アンケート調査では、仕事までの5つの基本目標が転出入のきっかけ・理由となるとともに、子育て支援サービスの充実が市民の満足度を高めることにつながると推測される結果であったことから、これしたがって、現時点では5つの基本目標に沿つた具体的施策の方針性は、人口減少の歯止めのために向けた取組として適切なものだと考えられる。総合戦略の具体的施策を充実しながら、今後、必要に応じて見直しを行うものとする。

目次

基本目標	具体的な施策	頁
(1)『確固たる宇治ブランドの確立』	①魅力発信プラットフォーム運営等事業	2
	②観光振興事業	4
	③観光インバウンド推進事業	6
	④宇治茶活用事業	8
	⑤宇治茶ブランド化事業	10
	⑥源氏物語のまちづくり等事業	12
	⑦宇治の魅力の深化事業	14
(2)『市民の宇治への愛着の醸成と市民によるふるさと宇治の創生』	①市民参画・協働によるふるさと宇治創生事業	18
	②宇治への愛着醸成事業	20
	③誰もが生き生きと暮らせる宇治づくり推進事業	22
	④多世代交流促進事業	25
	①まち巡りを仕掛ける基盤づくり	28
	②交通環境等充実事業	30
	③公共施設アセットマネジメントの導入	32
(3)『まちの魅力を高める都市基盤の整備』	④地域コミュニティの活性化	33
	①産業活性化事業	36
	②雇用促進事業	38
	①若い世代の就労支援事業	42
	②結婚・出産支援事業	44
	③子育て支援環境充実事業	46
	④学習環境等充実事業	50
(4)『地域経済の活力づくり』	⑤保幼小中の連携教育推進事業	54
	⑥地域等協働子育て環境充実事業	56
	1. 地方創生加速化交付金(平成27年度)	58
	2. 地方創生推進交付金(平成28年度)	61
	重要業績評価指標(KPI)目標値修正一覧	62
	人口動向分析	63
	国の方創生関連交付金を活用した事業結果	

(1) 「確固たる宇治ブランドの確立」～宇治市に新しい人の流れをつくる～

目標	人口減少に歯止めをかけるため、本市の魅力を発掘・創造・発信し、観光客をはじめとした交流人口の増加を図り、魅力の実感を通じて、宇治に住みたい思いの醸成から、転入者をやすことで社会増を達成する。							
数値目標	数値目標	基準値	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	目標値
地域ブランド調査 魅力度全国ランク	38位 (H26年)	54位	52位					29位 (H31年)
観光客の宇治市満足度 (飲食・お土産・景観等)	69~95% (H23年度)	—	平成29年8月 下旬確定					全て85%以上 (H34年度)
観光客のリピーター割合	58% (H23年度)	—	平成29年8月 下旬確定					70% (H34年度)
交流人口（観光入込客数）	5,201,764人 (H26年)	5,598,011人	5,587,147人					7,500,000人 (H31年)
※平成28年度・平成29年度 観光動向調査実施（観光客の宇治市満足度・リピーター割合等を把握）								
評価・課題	地域ブランド調査による魅力度全国ランキング及び交流人口（観光入込客数）は前年に比べて、ほぼ横ばいとなつております。これまで、市民参画・協働による新たな魅力発信や、観光振興をはじめ本市の魅力的な資源である宇治茶や源氏物語を活かした本市のブランドを高める取組など、積極的な事業の展開を図つているものの、数値的な効果は表れていない。魅力発信やブランドの確立については、効果が表れるまで、一定の時間を要するものと考えられるため、これまでの事業効果を検証しながら継続・発展的に取組を進め、さらなるブランド化を推進する必要がある。							
	事業名	新規・既存	事業概要					
平成29年度 新規・拡充 事業	魅力発信プラットフォーム運営等事業費（魅 力発信大使推進事業費）	新規	高校生版プラットフォームに卒業時に宇治魅力発信大使として任命し、市の魅力発信に係る活動を推進					
	受付証明等事務費	拡充	オリジナルの出生届等の作成					
	グラウンド・ゴルフ場整備事業費	拡充	グラウンド・ゴルフ場の全面オープンに伴う記念式典等の開催					
	お茶の京都DMO協議会負担金	拡充	お茶の京都づくりを推進するDMO協議会への負担金					
	お茶の京都博開催事業費	新規	「お茶の京都博」の開催					

<具体的施策>

①魅力発信プラットフォーム運営等事業									
目標	国内外だけでなく、世界のたくさんの人々に宇治の魅力を発信するため、市民、事業者、各種団体、学校、市の協働で、魅力の発掘・創造・発信する仕組みを構築する。また、動画やご当地キャラなどを活用し、魅力発信の充実を図る。								
重要業績評価指標(KPI)	魅力発信プラットフォーム参加団体数	指標	基準値	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	目標値
	ふるさと応援寄附件数	0団体(H26年度)	18団体	21団体					目標達成 20団体 ↓ 25団体 (H31年度)
事業名									事業結果
魅力発信プロモーションビデオ制作費及びちはや姫広報活動費(平成27年度地方創生加速化交付金対象)									市の魅力を市内外に広く発信するために、市宣伝大使「ちはや姫」を活用した広報活動等を行うとともに、市の認知度と好感度を向上させ、郷土愛の醸成、交流人口の増加、移住促進などを図ることを目的に、動画を作成しプロモーションを行つた。動画は平成29年3月3日に配信を開始してから、多くの再生がされ、データにも取り上げられるなどの反響があった。また、「宇治市宣伝大使ちはやは姫」の着ぐるみを新たに製作し、各種イベントへ参加するなど、積極的な活動に取り組んだ。
ふるさと応援施策推進事業									平成28年4月と10月にお礼の特典を拡充し、ふるさと応援寄付金を有効に活用するため、観光振興及び子育て支援などに用途を拡充する宇治市ふるさと応援基金条例の改正を行った。
平成28年度 主な事業									
年度	24	25	26	27	28				
件数	18	24	26	1,403	2,607				
金額(千円)	925	1,648	1,397	37,842	63,095				

事業名	事業結果	平成28年度事業									
		評価・課題	新規・拡充								
魅力発信プラットフォーム運営等事業	<p>「宇治市魅力発信行動指針」に基づき、宇治の魅力づくり、魅力発信に携わる市民の方、NPO団体、その他関係機関が、主体となり、参加者の方々が相互に連携する上で、持続的な宇治のにぎわいの構築を目的とするプラットフォームで意見交換を行った。</p> <p>・宇治魅力発信プラットフォーム会議 開催数 3回 ・高校生版プラットフォーム会議での意見を見踏まえ、特に高校生のエネルギーをまちづくりに活かすことを目的にし、企画、運営のイベントを開催した。「めっ茶、好きやねん!!～宇治に届け～」</p> <p>開催数 18回</p> <ul style="list-style-type: none"> ・宇治橋通りわんさんかフェスティバルにて足湯の設置 「宇治コレクション」の開催 ・和服をテーマにしたファーマンシヨンPR動画コンテストと同時開催 ・11月20日 (高校生グループ対抗宇治PR動画コンテスト) ・12月10日 (京都文教大学のPR動画コンテスト) ・高校生グループ対抗宇治PR動画コンテスト応募数 20作品 ・最高優秀賞・宇治に届け賞 各1作品 ・一般審査員賞 各1作品 	<p>本市の様々な魅力について発信するため、「～宇治に届け～」による様々な取組を実施し、市の魅力発信に努めた。また、ふるさと応援寄附では、お札の特典品拡充や広報の強化などにより、前年度に比べて、寄付件数・金額が大幅に増加している。さらに、オーディナルの宇治魅力発信プロモーションビデオを作成しておき、多くの視聴をいたしました。これらの中でも、多くの目標は達成できました。今後も継続的に事業実施を進めるとともに、本市の魅力のさらなる発信につなげ、制作したプロモーションビデオの活用をはじめ、市民・事業者・各種団体・学校・市内外の協力で、魅力を発信する具体的な取組の充実を図るなど、積極的な事業展開を図る必要がある。</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th>事業名</th> <th>新規・拡充</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>魅力発信プラットフォーム運営等事業費</td> <td>新規</td> </tr> <tr> <td>魅力発信大使推進事業費</td> <td>新規</td> </tr> <tr> <td>受付証明等事務費</td> <td>拡充</td> </tr> </tbody> </table>	事業名	新規・拡充	魅力発信プラットフォーム運営等事業費	新規	魅力発信大使推進事業費	新規	受付証明等事務費	拡充
事業名	新規・拡充										
魅力発信プラットフォーム運営等事業費	新規										
魅力発信大使推進事業費	新規										
受付証明等事務費	拡充										

<具体的施策>

②観光振興事業

本市には、世界遺産である宇治上神社や平等院をはじめ、全国に誇る高級茶の代名詞である宇治茶や源氏物語など、歴史や文化、自然といつたたくさんの中の魅力があり、国内外から多くの観光客が訪れている。こうした資源を活用するとともに、放ち鶴飼やスポーツなど新たな資源の創造と山間部にある炭山陶器の里やアクトバル宇治なども含めた市全体の魅力的な資源を活かして、さらなる観光誘客を図る。

目標	重要業績指標 (KPI)	指標 基準値	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	目標値 全て85%以上 (H34年度)
観光客の宇治市満足度 (飲食・お土産・景観等)	69～95% (H23年度)	—	平成29年8月 下旬確定					
観光客のリピーターポート率	58% (H23年度)	—	平成29年8月 下旬確定					70% (H34年度)

※平成28年度・平成29年度 観光動向調査実施（観光客の宇治市満足度・リピーターポート率を把握）

事業名	事業結果
放ち鶴飼プロジェクト検討事業 (平成27年度地方創生加速化交付金対象)	人工孵化で繁殖した鶴による放ち鶴飼の実施に向けた取組について、(公社)宇治市観光協会に対し補助金助成を行った。平成28年度には、人口孵化により増加した鶴（5羽）の環境整備として、鶴小屋の増築、修繕を行った。放ち鶴飼プロジェクト検討事業補助金 3,500千円
観光駐車場等対策事業 (平成27年度地方創生加速化交付金対象)	平成25年に策定した「宇治市観光振興計画」に基づき、(公社)宇治市観光協会をはじめ観光事業者と連携し、観光シーズンにおける交通渋滞緩和を図るために、臨時駐車場の開設及び案内誘導を行つた。
観光関連施設整備事業 (平成27年度地方創生加速化交付金対象)	中宇治エリアに点在する観光トイレ等の観光施設の修繕を行つた。また、JR宇治駅前、夢の浮橋ひろば、天ヶ瀬吊橋前、宇治神社前の4ヶ所の公衆便所について、改修に係る設計を行つた。

平成25年に策定した「宇治市観光振興計画」の推進に向け、学識経験者、(公社)宇治市観光協会、宇治商工会議所、平等院、商店街、茶業関係者などで構成する「宇治市観光振興計画推進委員会」を設置し、宇治の観光活性化のための議論を行つた。また、平成28年度は宇治市内主要観光施設周辺において10月、12月、1～2月の3期、京都市内においては11月、各商店街に向けでは12月に観光動向調査を実施し、台湾を対象としたインセンターネット調査も実施した。

事業名	事業結果					
	実績	目標				
観光活性化事業補助金 (平成27年度地方創生加速化交付金対象) グラウンド・ゴルフ場整備事業	<p>宇治の観光振興に係るイベント等及び放ち鶴飼プロジェクトの検討等に対して (公社)宇治市觀光協会等へ助成を行った。</p> <p>平成22年度に開所したグラウンド・ゴルフ場に新たに第3コース及び駐車場を整備し、平成29年秋頃の供用に向けて、造成工事及び張芝工事などに着手した。</p> <p>整備概要 コース 1コース8ホール（合計3コース24ホール） 駐車場 43台（合計102台） その他 東屋 棟（合計2棟）</p>					
平成28年度 主な事業 観光情報発信事業 (平成27年度地方創生加速化交付金対象)	<p>宇治市の観光資源の情報発信として、各地での観光プロモーションの実施、パンフレット等の発行、広報物への観光情報の掲載を行った。また、新たな観光資源であるアニメーションの活用や他団体との連携業務を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中国語版パンフレット「京都・宇治」 ・発行部数：繁体字：簡体字各4万部 ・宇治市觀光大使（10名）の任命 11月14日 ・宇治市×京阪電車舞合めぐりマップ制作（アニメ「響け！ユーフォニアム」連携） ・宇治市觀光PR記事掲載「関西ウォーカー」 平成29年1月24日、3月7日発売号掲載 ・京ごよみ観光情報掲載 ・京都レス特朗ウインタースペシャル2017公式ガイドブック観光情報掲載 ・香港トップセールスの実施 					
観光サイン等整備計画策定事業 (平成27年度地方創生加速化交付金対象)	<p>宇治市歴史的風致維持向上計画の重点区域である中宇治地域及び三室戸寺周辺、萬福寺周辺エリアにおいて、観光案内サイン整備推進委員会の方針と一体として、設置主委員会「撤去」「改修」が示された宇治市以外が設置したサイン整備後の維持管理手法等において説明と調整を図った。また、サイン整備後の調査を実施した。</p>					
評価・課題	<p>宇治の観光情報発信への様々な取組を行うことにより、宇治への訪問意欲の向上に努めることができた。また、ハード面においては、宇治市觀光案内サイン等整備計画策定委員会で議論し、宇治市觀光案内サイン整備ガイドラインに沿った観光サインの整備を進めるとともに、観光トイレの改修等を進めることができた。</p> <p>さらに、放ち鶴飼プロジェクトの検討を進めるとともに、グラウンド・ゴルフ場の第3コース及び駐車場の整備を進め、新たな資源の創造や市全体の魅力を引き継ぎ、観光サインの整備を進めることことができた。</p> <p>今後も引き続き、観光客の受け入れ環境の充実を図ることも、さらなる観光誘客を図る必要がある。</p>					
平成29年度 新規・拡充事業	<table border="1"> <tr> <td>事業名</td> <td>新規・拡充</td> </tr> <tr> <td>グラウンド・ゴルフ場整備事業費</td> <td>拡充</td> </tr> </table>	事業名	新規・拡充	グラウンド・ゴルフ場整備事業費	拡充	
事業名	新規・拡充					
グラウンド・ゴルフ場整備事業費	拡充					

<具体的施策>

③観光インバウンド推進事業

東京オリンピック・パラリンピックを見据えつつ、外国人観光客のさらなる誘客を図るために、源氏物語ミュージアムをはじめ、宇治の魅力を世界に発信する。

目標 重要業績評価指標(KPI)	平成27年度						目標値 目標達成 ↓ 9,000人 (H31年度)
	指標	基準値	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	
市営茶室対鳳庵外国人観光客数 源氏物語ミュージアムでの音声ガイドダンス貸出件数	6,059人 (H26年度)	7,198人	8,442人				
	4,021件 (H26年度)	3,671件	6,159件				

平成28年度 主な事業 評価・課題 評価	事業結果						海外からの観光誘客のために、様々なメディアによる海外向けの情報発信を行った。香港ウォーカー・ジャパンウォーカーに宇治情報を掲載した。 ・香港ウォーカー 発行部数：70,000部 ・ジャパンウォーカー（台湾で発行） 発行部数：100,000部 旅行情報誌等、計5誌に当館の広告を掲載した。関東地方の鉄道会社設置のフリーペーパーを用いた広報を行い、関東方面からの誘客を図るほか、英文情報誌2誌に拡大した。
	事業名	事業内容	実績	目標	実績	目標	
観光インバウンド推進事業 (平成27年度地方創生加速化交付金対象)							

海外に向けた宇治の情報発信を行うことにより、海外からの観光誘客を図ることができた。また、重複して重要な業績評価指標の目標も達成していることから、効果的な取組を進めることができる。さらに、外国人観光客のさらなる誘客に向けて、東京オリンピック・パラリンピックも見据えながら、外国人観光客に向かって広報を強化し、受け入れ環境の整備や外向けセールスを拡充する必要がある。

<具体的的施策>

業事用活茶治宇④

事業名	事業結果	評価・課題		
		新規・拡充事業	新規・拡充	新規
宇治茶おもてなし推進事業 (平成27年度地方創生加速化交付金対象)	<p>各種イベントにて市内産宇治茶の普及啓発を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> 平成28年9月 第24回京都観光プロモーションにて旅行会社向け碾玉PR 10月 京都駅JR東海ツアーズ前にて碾玉発売記念PR 11月 関西産業観光博覧会(関西国際空港)にて碾玉PR 宇治市観光協会(観光センター)にて碾玉試飲会 宇治市観光大使就任式(市役所)にて安田美沙子さんと碾玉乾杯 <p>平成29年2月 プロモーション会議京都(京都テルサ)にて旅行会社向け碾玉PRほか</p> <p>宇治市役所1階市民交流ロビー一縦茶機を7月の約2週間、市内産玉露かりがねの新茶が味わえる特別仕様にした。</p> <p>市主催の会議等の際に用意する飲み物について市内産玉露かりがねを使用した。</p>			
宇治茶巡りガイドツアー事業 (平成27年度地方創生加速化交付金対象)	市職員向けにお茶の淹れ方研修を実施した。(全3回実施)			
宇治茶まつり事業への支援	宇治茶をテーマに茶園・茶問屋街・茶工場等を巡る無料ガイドツアーを実施した。ツアーパートナー参加者は841人であった。			
評価・課題	「宇治茶の普及とおもてなしの心の醸成に関する条例」に基づく各種事業の実施や市営茶室「対鳳庵」での宇治茶の提供により、宇治茶の普及及び観光の振興を図ることができた。前年度を下回るため、事業効果を証しながら、国内外に対しても「対鳳庵」のPR強化をはじめ、「お茶の京都」構想に関する取組を、京都府をはじめとした関係団体と連携を図りながら、広域的な取組もあわせて推進していく必要がある。	新規・拡充事業	新規・拡充	新規
平成29年度 新規・拡充 事業				

<具体的施策>

⑤宇治茶ブランド化事業

目標	市内産宇治茶のブランド化を進め、確固たるものとすることで、宇治茶はもとより本市のブランド力の向上を図る。																
重要業績指標(KPI)	<table border="1"> <tr> <td>指標</td><td>基準値</td><td>平成27年度</td><td>平成28年度</td><td>平成29年度</td><td>平成30年度</td><td>平成31年度</td><td>目標値</td></tr> <tr> <td>宇治茶を目的に宇治へ来る割合</td><td>15% (H23年度)</td><td>—</td><td>平成29年8月 下旬確定</td><td></td><td></td><td></td><td>30% (H34年度)</td></tr> </table> <p>※平成28年度・平成29年度 観光動向調査実施（宇治茶を目的に宇治へ来る割合等を把握）</p>	指標	基準値	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	目標値	宇治茶を目的に宇治へ来る割合	15% (H23年度)	—	平成29年8月 下旬確定				30% (H34年度)
指標	基準値	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	目標値										
宇治茶を目的に宇治へ来る割合	15% (H23年度)	—	平成29年8月 下旬確定				30% (H34年度)										
平成28年度 主な事業	<table border="1"> <thead> <tr> <th>事業名</th><th>事業結果</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>市内産宇治茶ブランド化推進事業 (平成27年度地方創生加速度交付金対象) (平成28年度地方創生推進交付金対象)</td><td>市内産宇治茶のブランド力を強化するため、リーフレット等を使用した宇治茶情報発信、認証制度の検討会（全14回）、市内産茶葉のみを使用した「碾玉」の販売・PRなどの取組を実施した。「碾玉」については、平成28年10月に市内の商店（計14店舗）で販売を開始し、さらに、ふるさと納税、インターネット通販・催事での取扱いなど様々な側面で販路拡大を行った。</td></tr> <tr> <td>六次産業化推進事業</td><td>産業連関表による次産業の流通拡大に向けた分析のため、農業関連へのアンケート調査、聞き取り調査にてデータ収集を行った。</td></tr> <tr> <td>産業連関表策定事業</td><td>市内経済の統計情報の分析と、市内事業所へのアンケート結果の取りまとめを行い、産業連関表策定のための準備を行った。</td></tr> </tbody> </table>	事業名	事業結果	市内産宇治茶ブランド化推進事業 (平成27年度地方創生加速度交付金対象) (平成28年度地方創生推進交付金対象)	市内産宇治茶のブランド力を強化するため、リーフレット等を使用した宇治茶情報発信、認証制度の検討会（全14回）、市内産茶葉のみを使用した「碾玉」の販売・PRなどの取組を実施した。「碾玉」については、平成28年10月に市内の商店（計14店舗）で販売を開始し、さらに、ふるさと納税、インターネット通販・催事での取扱いなど様々な側面で販路拡大を行った。	六次産業化推進事業	産業連関表による次産業の流通拡大に向けた分析のため、農業関連へのアンケート調査、聞き取り調査にてデータ収集を行った。	産業連関表策定事業	市内経済の統計情報の分析と、市内事業所へのアンケート結果の取りまとめを行い、産業連関表策定のための準備を行った。								
事業名	事業結果																
市内産宇治茶ブランド化推進事業 (平成27年度地方創生加速度交付金対象) (平成28年度地方創生推進交付金対象)	市内産宇治茶のブランド力を強化するため、リーフレット等を使用した宇治茶情報発信、認証制度の検討会（全14回）、市内産茶葉のみを使用した「碾玉」の販売・PRなどの取組を実施した。「碾玉」については、平成28年10月に市内の商店（計14店舗）で販売を開始し、さらに、ふるさと納税、インターネット通販・催事での取扱いなど様々な側面で販路拡大を行った。																
六次産業化推進事業	産業連関表による次産業の流通拡大に向けた分析のため、農業関連へのアンケート調査、聞き取り調査にてデータ収集を行った。																
産業連関表策定事業	市内経済の統計情報の分析と、市内事業所へのアンケート結果の取りまとめを行い、産業連関表策定のための準備を行った。																
評価・課題	「碾玉」の商品化に取り組み、販売・PRを通して、宇治茶のブランド価値を高めることができた。今後は、宇治市版産業連関表を活用するとともに、さらなる宇治茶ブランドの確立に向けて、生産農家の後継者育成のほか、認証制度における「宇治碾茶」の商標登録に向けた取組を支援していく必要がある。																

<具体的施策>

⑥源氏物語のまちづくり等事業

目標 重要業績指標 (KPI)	本市は源氏物語宇治十帖の舞台となつたまちであり、これまでから源氏物語のまちづくりを進めている。引き続き、源氏物語ミュージアムを中心とした取組など、源氏物語を活かしたまちづくりを進め、本市のブランド力の向上を図る。	指標 源氏物語ミュージアム来館者数 (H26年度)	基準値 118,377人 (H26年度)	平成27年度 112,372人	平成28年度 89,979人	平成29年度	平成30年度	平成31年度	目標値 160,000人 (H31年度)	
事業名		事業結果								
源氏物語ミュージアムリニューアル事業 (平成27年度地方創生加速化交付金対象)		国内外の多くの来館者が、「源氏物語」と平安時代の文化に親しめる施設として、施設全体の充実を目指し、開館20周年の平成30年にリニューアルをするため、「宇治市源氏物語ミュージアムリニューアル基本構想」、「宇治市源氏物語ミュージアムリニューアル基本設計」を策定した。								
企画展 (平成27年度地方創生加速化交付金対象)		企画展では、他館との連携や関連事業を実施した。 ・源氏物語のかさねの色目—宇治十帖の世界— ・宇治市歴史資料館合同企画なんどいってもお茶は宇治 ・源氏ワンダーランド—平安時代の人々とくらし— ・源氏物語の音樂 ・超絶技巧！銅版画の世界—描かれた京都— ・江戸時代の源氏物語—見立てとやつし—								
平成28年度 主な事業 宇治十帖スタンプラリー開催事業 (平成28年度地方創生推進交付金対象)		宇治十帖の古跡をめぐる基本コースと、宇治上神社及び平等院など史跡・寺社を巡る健脚コースの2コースを設定し、スタンプラリーを開催した。 ・開催日数5日(10月22日、23日、29日、30日、11月3日) ・踏破者数17,503人								
紫式部文学賞及び紫式部市民文化賞贈呈式及び記念イベント		文学賞の受賞作品は平田俊子氏の「越れ言の自由」に決定し、11月20日に贈呈式と記念イベントを行った。贈呈式の前に源氏物語クイズが行われ、贈呈式のオーブニングとして源氏物語の朗誦を実施した。記念イベントでは、「美と艶」の今昔～平成まで～と題し、井上章一氏(国際日本文化研究センター教授)による講演等を行った。								

事業名	事業結果
古典の日推進事業	<p>平成20年11月1日に「源氏物語千年紀委員会」が開催した記念式典において、11月1日を「古典の日」とする宣言を行い、京都府・京都市・宇治市等で構成する古文書の日推進委員会が法制化に向けた活動を行ってきた。その結果、平成24年9月に「古典の日に関する法律」が制定、施行された。法律の施行後も恒常的な推進活動は継続しており、古典の日推進委員会において様々な古典に親しむ事業を実施している。</p> <p>平成28年度は、古典の日推進委員会主催で、「源氏物語」をメインテーマとした古典の日フォーラム2016を開催した。</p>
平成28年度 主な事業	
	<p>源氏物語ミュージアムでは、毎回テーマを工夫した話題性のある企画展の開催により、観覧者に満足度の高い展示を提供することができた。</p> <p>また、宇治十帖スタンプラリーなど、源氏物語をテーマとするイベントを開催してきたことにより、市民の文化活動の活性化及び「源氏物語のまちづくり」の定着を図ることができた。</p> <p>「源氏物語ミュージアムでは、策定した源氏物語ミュージアムリニューアルの基本構想及び基本設計をもとに、「観光」と「生涯学習」の拠点として再整備を行うとともに、魅力ある企画展の開催により、新規来館・再来館者の増加を目指す。</p>

<具体的施策>

		⑦宇治の魅力の深化事業						
目標	重要業績評価指標 (KPI)	(仮) 宇治川太閤堤跡歴史公園の整備を進め、新たな観光資源を創出するこことで、宇治の魅力の深掘りによる周遊観光の促進を図る。また、宇治の伝統文化を次代へ引き継ぐとともに、文化や歴史など多くの恵まれた資源の有機的な連携による、さらなる魅力の向上（深化）を目指す。						
		指標 重要文化的景観地区選定面積 (KPI)	基準値 (H26年度) 228.5ha	平成27年度 228.5ha	平成28年度 228.5ha	平成29年度 228.5ha	平成30年度 228.5ha	目標値 H31年度 520.0ha
事業名	事業結果							
(仮) 宇治川太閤堤跡歴史公園史跡・交流ゾーン整備事業	<p>史跡整備のため、太閤堤築堤期を再現するAゾーンでは、石張り遺構の再現に使用するGRCパネル9.6m²を製作した。また、既に製作済みのものも含め、263.2m²のGRCパネルを設置した。一方、太閤堤が埋没し茶園ができる講座を実施し、市民とともに茶園の植栽を体験する講座を行った。また、茶樹の植栽の発掘調査を行った。その後、太閤堤フォーラムを開催し、発掘調査現場を見学をするなど50名の参加を得た。</p> <p>（仮）宇治川太閤堤跡歴史公園史跡・交流ゾーン整備事業 平成28年度 主な事業</p>							
宇治田楽まつり開催事業	<p>平安時代に栄えた田楽を、現代風にレンジし、10月15日に府立宇治公園中の島で盛大に宇治田楽まつりとして、実行委員会主催で開催した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・出演者数 約120人 ・観覧者数 約2,500人 							
宇治十帖スタンプラリー開催事業（再掲）	<p>（1）—⑥掲載</p>							
古典の日推進事業（再掲）	<p>（1）—⑥掲載</p>							

事業名	事業結果
平成28年度 主な事業 文化的景観保護推進事業	<p>重要文化の追加選定を目指して取り組むとともに、景観の保全を図るため、委員会を開催した。修理事業として、は京都府茶業会議所の耐震補強、外観・内装改修、屋根葺き替え工事を行つた。また、「宇治の文化」の理解度を高めるため、全国大会を開催した。全国大会を開催した。市民の文化への理解度を高め、全国大会を開催した。</p>
評価・課題	
	<p>(仮) 宇治川太閤堤跡歴史公園の史跡整備に向けた事業進捗を図ることも、遺構再現パネルの作成と史跡整備工事及び太閤堤公園内告示板の設置等を普及することができた。一方で、歴史公園交流ゾーンの整備について、課題では、課題では、見直しに特化する方向で計画を見直しする中で、今後、事業の具体化に向けて取組を進めが必要がある。</p> <p>このほか、宇治田楽まつりや重要文化的景観も活かしながら、引き続き、歴史的な資産と一体となつた魅力あふれる宇治のまちづくりに努める必要がある。</p>

(2) 「市民の宇治への愛着によるふるさと宇治の創生」～宇治への愛着から定住促進につなげる～

目標	人口減少に歯止めをかけるために、人口の流入とあわせて、人口の流出抑制を図ることで、宇治に住み続けたい思いへつなげ、人 口流出抑制を図る。 醸成を図るとともに、行政だけでなく市民自らが、魅力あるさと宇治を築くことで、宇治への愛着の醸成を図る。							
数値目標								
	数値目標	基準値	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	
	市民の宇治への愛着度	83% (H25年度)	—	—	—	—	90% (H31年度)	
	市民の定住意向	61% (H25年度)	—	—	—	—	70% (H31年度)	
	社会動態 (転入・転出数)	-656人 (H26年)	-889人	-580人	—	—	0人 (H31年)	
評価・課題	※ 平成29年度 アンケート調査実施予定（市民の宇治への愛着度・市民の定住意向等を把握） 社会動態は減少幅が縮小しておりますが、これまでの取組の効果が一定表れていますものの、いまだ転出超過であり、人口の流入とあわせて、人口の流出抑制が必要である。人口流出抑制のためには、宇治への愛着の醸成が必要である。 までの事業効果を検証しながら、今後も引き続き市民参画・協働による事業実施を行っていく必要がある。							
平成29年度 新規・拡充 事業	事業名	新規・拡充	事業概要					
	市政により発行費	拡充	紙面の内容・デザインをリニューアル					
	国際交流事業（スマラエリヤ市訪問調査員派遣事業費）	新規	この間休止していた国際友好都市であるスマラエリヤ市への公式訪問団の派遣に向けて、現地調査を実施					
	文化祭開催費	拡充	市民文化の振興を図るために、芸術文化協会に対し、市民文化芸術祭に係る実行委員会事務局業務を委託					
	ふるさと応援施策推進事業費	拡充	'宇治ふるさとプレゼント'の品目及び寄附の用途の追加					
	「宇治学」推進事業費	拡充	小学校3・6年生で副読本を活用し、「宇治学」の学習を充実					
	高齢者保健福祉計策定調査費	拡充	高齢者保健福祉計画及び第7期介護保険事業計画を策定					
	音訊ボランティア・要約筆記ボランティア養成事業補助金	新規	音訊ボランティア及び要約筆記ボランティアの養成講座に対する補助					
	認知症センター整備推進事業費	新規	認知症ケアに携わる人材の養成、地域資源との連携強化等を実施					

事業概要	
事業名	新規・拡充
歯科健診費	新規 後期高齢者医療制度被保険者のうち前年度75歳の方を対象に、口腔機能低下の予防を図り、誤嚥性肺炎等の疾患予防につなげるため、歯・歯肉の状態や口腔清掃状態等をチェックする歯科健診を実施
福祉医療費支給費	拡充 障害者医療において、市民税非課税世帯の療育手帳B所持者を対象に追加（1月診療分から）
重度心身障害老人健康管理制度	拡充 市民税非課税世帯の療育手帳B所持者を対象に追加（1月診療分から）
人間ドック受診補助金	拡充 受診定員の拡大

平成29年度
新規・拡充
事業

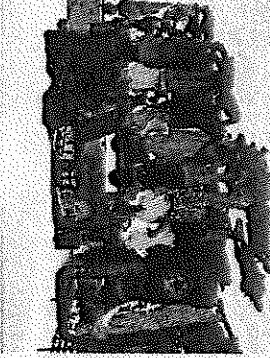
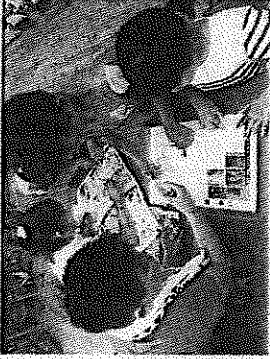
<具体的施策>

①市民参画・協働によるふるさと宇治創生事業																	
目標	魅力あるまちとなるためには、行政だけでなく市民がまちに愛着を持ち、まちづくりに参画することが重要であると考えることから、市民参画・協働によるふるさと宇治の創生を推進する。あわせて、ふるさと宇治の創生には市民の主体的な関わりが何よりも重要であるため、これらを担う人材の発掘・育成に取り組む。																
重要業績評価指標(KPI)	<table border="1"> <thead> <tr> <th>指標</th><th>基準値</th><th>平成27年度</th><th>平成28年度</th><th>平成29年度</th><th>平成30年度</th><th>平成31年度</th><th>目標値</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>魅力発信プラットフォーム参加団体による魅力発信事業数</td><td>0件(H26年度)</td><td>1件</td><td>1件</td><td></td><td></td><td></td><td>2件(H31年度)</td></tr> </tbody> </table>	指標	基準値	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	目標値	魅力発信プラットフォーム参加団体による魅力発信事業数	0件(H26年度)	1件	1件				2件(H31年度)
指標	基準値	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	目標値										
魅力発信プラットフォーム参加団体による魅力発信事業数	0件(H26年度)	1件	1件				2件(H31年度)										
平成28年度 主な事業	<table border="1"> <thead> <tr> <th>事業名</th><th>事業結果</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>市民と市長の対話ミーティング事業</td><td> <p>それぞれの分野で活動する市民と活発な議論を行った。</p> <p>・開催状況 第13回 テーマ 住みなれた地域で生活していくために ～だれもがいきいきと暮らせるまちを目指して～ 日時 6月4日（土）午後2時～4時30分 場所 東宇治地域福祉センター</p> <p>第14回 テーマ 食育の推進で健康新日本一を 目指す 日時 9月3日（土）午後1時～2時10分 場所 南宇治コミュニティセンター</p> <p>市民の防犯に対する意識を高めるきっかけとして、9月に「防犯講演会」を、12月に宇治市教育委員会主催の「宇治市子どもとの安全な生活を守るネットワーク会議」を開催した。</p> <p>小学校区単位の防犯推進組織の活動を支援し、全22小学校区に助成金を交付した。</p> <p>子ども手づくり文化祭では、市立小学校の協力のもと、展示、クラフト、お茶席を開催した。また、市民文化芸術祭から独立した参加事業（いけばな・音楽・写絵・絵画）を開催した。子ども手づくり文化祭（開催日9月22日）来場者数 約2,600人 ・市民文化芸術祭（開催日10月29日、30日） 参加者数 約1,000人、来場者数 約5,700人 ・同参加事業 参加者数 約700人、来場者数 約2,400人</p> </td></tr> </tbody> </table>	事業名	事業結果	市民と市長の対話ミーティング事業	<p>それぞれの分野で活動する市民と活発な議論を行った。</p> <p>・開催状況 第13回 テーマ 住みなれた地域で生活していくために ～だれもがいきいきと暮らせるまちを目指して～ 日時 6月4日（土）午後2時～4時30分 場所 東宇治地域福祉センター</p> <p>第14回 テーマ 食育の推進で健康新日本一を 目指す 日時 9月3日（土）午後1時～2時10分 場所 南宇治コミュニティセンター</p> <p>市民の防犯に対する意識を高めるきっかけとして、9月に「防犯講演会」を、12月に宇治市教育委員会主催の「宇治市子どもとの安全な生活を守るネットワーク会議」を開催した。</p> <p>小学校区単位の防犯推進組織の活動を支援し、全22小学校区に助成金を交付した。</p> <p>子ども手づくり文化祭では、市立小学校の協力のもと、展示、クラフト、お茶席を開催した。また、市民文化芸術祭から独立した参加事業（いけばな・音楽・写絵・絵画）を開催した。子ども手づくり文化祭（開催日9月22日）来場者数 約2,600人 ・市民文化芸術祭（開催日10月29日、30日） 参加者数 約1,000人、来場者数 約5,700人 ・同参加事業 参加者数 約700人、来場者数 約2,400人</p>												
事業名	事業結果																
市民と市長の対話ミーティング事業	<p>それぞれの分野で活動する市民と活発な議論を行った。</p> <p>・開催状況 第13回 テーマ 住みなれた地域で生活していくために ～だれもがいきいきと暮らせるまちを目指して～ 日時 6月4日（土）午後2時～4時30分 場所 東宇治地域福祉センター</p> <p>第14回 テーマ 食育の推進で健康新日本一を 目指す 日時 9月3日（土）午後1時～2時10分 場所 南宇治コミュニティセンター</p> <p>市民の防犯に対する意識を高めるきっかけとして、9月に「防犯講演会」を、12月に宇治市教育委員会主催の「宇治市子どもとの安全な生活を守るネットワーク会議」を開催した。</p> <p>小学校区単位の防犯推進組織の活動を支援し、全22小学校区に助成金を交付した。</p> <p>子ども手づくり文化祭では、市立小学校の協力のもと、展示、クラフト、お茶席を開催した。また、市民文化芸術祭から独立した参加事業（いけばな・音楽・写絵・絵画）を開催した。子ども手づくり文化祭（開催日9月22日）来場者数 約2,600人 ・市民文化芸術祭（開催日10月29日、30日） 参加者数 約1,000人、来場者数 約5,700人 ・同参加事業 参加者数 約700人、来場者数 約2,400人</p>																

事業名	事業結果	評価・課題	平成29年度 新規・拡充 事業				
事業名	まちづくり活動支援事業 平成28年度 主な事業	市民と市長の対話ミーティング事業では、各分野で活動している市民と活発な議論を行うことにより、市民参画・協働の推進及び地域力向上を図ることができた。さらに、まちづくり活動への支援や防犯推進組織の活動支援等の取組により、市民参加による地域における自主的な防犯活動の推進等を図ることができた。今後も、市民参画・協働によるふるさと宇治の創生を推進するため、引き続き魅力発信プラットフォーム運営等の事業を実施していく必要がある。					
	<p>地区まちづくり協議会パネル展 開催期間 9月5日～9月9日 目的 協議会の活動内容について紹介</p> <p>・うじ井戸端会議 開催日 平成28年5月25日、9月8日、平成29年3月22日 目的 協議会及びまちづくりマイスター（まちづくり塾修了生）の情報及び意見の交換、交流</p> <p>・宇治市まちづくり審議会部会 宇治市まちづくり審議会部会 2回開催 認定した協議会に対して行う支援 専門家派遣件数 0件 活動費助成件数 3件</p> <p>魅力発信プラットフォーム運営等事業（再掲） (1) -①掲載</p>		<table border="1" data-bbox="1056 1112 1250 1879"> <tr> <th data-bbox="1056 1123 1123 1868">事業名</th> <th data-bbox="1123 1123 1250 1868">新規・拡充</th> </tr> <tr> <td data-bbox="1056 1168 1123 1868">市政だより発行費 国際交流事業（スワラエリヤ市訪問調査員派遣事業費） 文化祭開催費</td> <td data-bbox="1123 1168 1250 1868">拡充 新規 拡充</td> </tr> </table>	事業名	新規・拡充	市政だより発行費 国際交流事業（スワラエリヤ市訪問調査員派遣事業費） 文化祭開催費	拡充 新規 拡充
事業名	新規・拡充						
市政だより発行費 国際交流事業（スワラエリヤ市訪問調査員派遣事業費） 文化祭開催費	拡充 新規 拡充						

<具体的施策>

		②宇治への愛着醸成事業																													
目標		宇治の子どもが宇治の魅力を知り・実感することで宇治への愛着を深めることをはじめ、魅力の再認識を通じて、すべての市民の宇治への愛着を深め、定住の促進を図る。																													
重要業績評価指標(KPI)		<table border="1"> <thead> <tr> <th>指標</th><th>基準値</th><th>平成27年度</th><th>平成28年度</th><th>平成29年度</th><th>平成30年度</th><th>平成31年度</th><th>目標値</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>市民の定住意向</td><td>61% (H25年度)</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td><td>70% (H31年度)</td></tr> <tr> <td>市内小学3年生に対し、宇治茶を使用した授業の時間数</td><td>0時間 (H26年度)</td><td>4.6時間</td><td>6.7時間</td><td>6.7時間</td><td>6.7時間</td><td>6.7時間</td><td>5時間 (H31年度)</td></tr> </tbody> </table>						指標	基準値	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	目標値	市民の定住意向	61% (H25年度)	—	—	—	—	—	70% (H31年度)	市内小学3年生に対し、宇治茶を使用した授業の時間数	0時間 (H26年度)	4.6時間	6.7時間	6.7時間	6.7時間	6.7時間	5時間 (H31年度)
指標	基準値	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	目標値																								
市民の定住意向	61% (H25年度)	—	—	—	—	—	70% (H31年度)																								
市内小学3年生に対し、宇治茶を使用した授業の時間数	0時間 (H26年度)	4.6時間	6.7時間	6.7時間	6.7時間	6.7時間	5時間 (H31年度)																								
※平成29年度 アンケート調査実施予定（市民の定住意向等を把握）																															
事業名		事業結果																													
魅力発信プラットフォーム運営等事業（再掲）		(1) 一①掲載																													
ふるさと応援施策推進事業（再掲）		(1) 一①掲載																													
市民観光ディ在意事業 (平成27年度地方創生加速化交付金対象)		市民に宇治市の良さを知つてもらしい、ふるさと意識や観光客を歓迎する意識の醸成を図るための取組として、平成28年度に図った。・萬福寺拝観・座禅体験及び市内産煎茶の接待																													
平成28年度 主な事業		<p>日時：11月19日 午後1時～午後5時 定員：100組200人 応募数：215件</p> <p>・小学校3年生、6年生で宇治の特色及び課題などをテーマに、「探究的な学習」「協働的な学習」の学び方が学べるように副読本及び指導の手引きの作成及び配付した。 (テーマ) 小学校3年生・・・「宇治茶のステキをつたえよう」 (テーマ) 小学校6年生・・・「ふるさと宇治」の魅力大発信</p> <p>・市立小学校22校の全てで3年生を対象とした抹茶体験授業を実施した。</p>																													
「宇治学」推進事業 (平成27年度地方創生加速化交付金対象)		宇治市立22小学校の第6学年の児童1,741人が、宇治の魅力体験として平等院の拜観などを行つた。児童が宇治のことを探るためになるとともに、見学・発見を通して、さらに自分たちで探究していく力を持つことを育てる体験となつた。																													
「宇治学」宇治の魅力体験支援事業 (平成27年度地方創生加速化交付金対象)																															

			事業結果
事業名	保育所・幼稚園・小学校での環境啓発事業	<p>地球環境への負荷を低減するために、未来の社会を担う子ども達を対象に、環境啓発事業として、下記の環境教育を行った。</p> <p>【保育所・幼稚園】実施箇所：22園 内容：「ごみ分別ゲーム」を通じて、ごみ問題の現状、限りある資源の有効利用、ごみの減量、分別収集の重要性について、理解を深めてもう授業</p> <p>【小学校】実施校：21校 内容：「ごみのお話」や「ごみ分別ゲーム」を通じて、ごみ問題の現状、限りある資源の有効利用、ごみの減量、分別収集の重要性について、理解を深めてもう授業</p>	 
平成28年度 主な事業		評価・課題	<p>重要文化財である萬福寺での座禅及び煎茶道の体験を通じて、市民のふるさと意識及び観光客に対するおもてなしの心の醸成を図ることもに、市内小学生に対する宇治茶を使用した授業の実施により、宇治の子どもが宇治の魅力を知るために授業を実施することができた。今後も、引き続き宇治への愛着を深め、定住の促進を図るための事業を実施していく必要がある。</p>
平成29年度 新規・拡充 事業		事業名	新規・拡充
		ふるさと応援施策推進事業費	拡充
		「宇治学」推進事業費	拡充

<具体的施策>

③誰もが生き生きと暮らせる宇治を推進事業

誰もが生き生きと暮らすことはまちの活動を生み出すことから、健健康寿命の延伸を図り、健健康長寿日本一に向けた取組を推進する。

目標 重要業績評価指標(KPI)	平成29年度 アンケート調査実施予定（市民の定住意向等を把握）											
	指標 市民の定住意向	基準値 (H25年度)	平成27年度 —	平成28年度 —	平成29年度 —	平成30年度 —	平成31年度 —	目標値 70% (H31年度)				
誰もが生き生きと暮らすことはまちの活動を生み出すことから、健健康寿命の延伸を図り、健健康長寿日本一に向けた取組を推進する。	<p>「宇治市健健康づくり・食育推進事業」に基づき、「健健康長寿日本一」の実現に向けて、市民の健康づくりと食育の推進に關して協議・検討を行った。 ・協議会開催回数 2回</p>											
平成28年度 主な事業	<table border="1"> <thead> <tr> <th>事業名</th> <th>事業結果</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>健康づくり・食育推進事業</td> <td>認知症の人とその家族の訪問を実施し、早期発見、早期支援を行った。また、認知症対応型力フェスティバルで33回開催し、認知症の人に社会参加ができる場所、生きがいづくり、ピアサポートの場を提供し、認知症の人とその家族、地域住民に対して、認知症に関する正しい知識の普及啓発を行った。 - 二次予防事業該当者訪問件数 - 認知症対応型力フェスティバル参加者延べ人数 - 認知症集中支援チーム対象事例数 - 初期集中支援チーフ会議 - 認知症を正しく理解するための連続講座参加実人数 - 認知症講演会 - 認知症予防を目的とした教室及び認知症の正しい理解の普及・啓発（認知症あんしんサポート一養成講座）を行った。 - 認知症予防教室参加者数（実人数） - 認知症あんしんサポート一養成講座延べ参加者数 - 認知症集中支援チーフ会議参加者数 - 脳活性化教室延べ参加者数 - キヤラバシン・メイト養成講座参加者数 - キヤラバシン・メイト養成講座参加者数</td> </tr> </tbody> </table>						事業名	事業結果	健康づくり・食育推進事業	認知症の人とその家族の訪問を実施し、早期発見、早期支援を行った。また、認知症対応型力フェスティバルで33回開催し、認知症の人に社会参加ができる場所、生きがいづくり、ピアサポートの場を提供し、認知症の人とその家族、地域住民に対して、認知症に関する正しい知識の普及啓発を行った。 - 二次予防事業該当者訪問件数 - 認知症対応型力フェスティバル参加者延べ人数 - 認知症集中支援チーム対象事例数 - 初期集中支援チーフ会議 - 認知症を正しく理解するための連続講座参加実人数 - 認知症講演会 - 認知症予防を目的とした教室及び認知症の正しい理解の普及・啓発（認知症あんしんサポート一養成講座）を行った。 - 認知症予防教室参加者数（実人数） - 認知症あんしんサポート一養成講座延べ参加者数 - 認知症集中支援チーフ会議参加者数 - 脳活性化教室延べ参加者数 - キヤラバシン・メイト養成講座参加者数 - キヤラバシン・メイト養成講座参加者数		
事業名	事業結果											
健康づくり・食育推進事業	認知症の人とその家族の訪問を実施し、早期発見、早期支援を行った。また、認知症対応型力フェスティバルで33回開催し、認知症の人に社会参加ができる場所、生きがいづくり、ピアサポートの場を提供し、認知症の人とその家族、地域住民に対して、認知症に関する正しい知識の普及啓発を行った。 - 二次予防事業該当者訪問件数 - 認知症対応型力フェスティバル参加者延べ人数 - 認知症集中支援チーム対象事例数 - 初期集中支援チーフ会議 - 認知症を正しく理解するための連続講座参加実人数 - 認知症講演会 - 認知症予防を目的とした教室及び認知症の正しい理解の普及・啓発（認知症あんしんサポート一養成講座）を行った。 - 認知症予防教室参加者数（実人数） - 認知症あんしんサポート一養成講座延べ参加者数 - 認知症集中支援チーフ会議参加者数 - 脳活性化教室延べ参加者数 - キヤラバシン・メイト養成講座参加者数 - キヤラバシン・メイト養成講座参加者数											

事業名	事業結果	平成28年度 主な事業	
		認知症の人による 心身障害児通園事業	認知症の人による 介護予防事業
認知症の人による 心身障害児通園事業	<p>認知症を「自分のこと」として捉え、市民や企業等が認知症を正しく理解し、相手を思いやるやさしさをもつて、自分のできるアクションを起こしていく、「認知症の人によるやさしいまち・うじ」の実現に向け、認知症の人の視点に立った取組を進めました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・“れもねいど”推進協議会の開催 4回 ・“れもねいど”推進協議会のワーキングチームの企画運営（当事者研究チーム、リクルートチーム、普及啓発チーム） ・れもねいど加盟店登録団体数 34団体 ・認知症フォーラムin宇治参加者数 250人 ・れもねいだー登録者（累計人数） 66人 	<p>障害児通園（児童発達支援）事業について補助金を交付した。また、通園事業での療育を希望しながら待機となつた子どもに対し、待機児親子サポート事業を実施しているが、平成28年度は待機児がなかつた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童発達支援団体等（アジール舎） ・児童デイサービス（宇治福祉園） ・こども之園（かおり福祉会） ・かおども発達さっぽーとセンターあゆみ園（不動園） 	<p>ごみ出ししが困難な高齢者世帯などに対して、ふれあい収集（戸別収集）を実施した。</p> <p>ふれあい収集（ごみ収集福祉サービス）</p>
			<p>介護予防を目的とした教室の開催及び普及啓発を行つた。</p> <p>一次予防事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・パワーリハビリ事業（延人数） 10,839人 ・B型リハビリ教室（延人数） 6,448人 <p>一次予防事業 介護予防普及啓発事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ためしてナッ得！健康のすすめ（延人数） 108人 ・ケアラーズ・カフェ（延人数） 100人 <p>二次予防事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・足しつかり体操教室（延人数） 3,131人 ・パワーリハビリ教室（延人数） 3,110人 ・足腰改善体操教室（延人数） 9,980人 ・訪問型介護予防事業（延人数） 127人 <p>健康増進法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・在宅棲たきり者等訪問指導事業（延人数） 39人 ・機能訓練事業（延人数） 17人

事業名	事業結果	
	評価・課題	新規・拡充
鳳凰大学事業 平成28年度 主な事業	<p>宇治鳳凰大学では、文学歴史・健康管理・社会福祉を4年間で学ぶ。従前は1学年の定員が100名だったが、団塊の世代が退職する時期になることから25年度から定員を倍増し200名としている。28年度は1年生から4年生合計674名が在籍した。学習成果を発表する大学祭はOBの参加もあり、約1000人が舞台発表や作品展示を行った。</p> <p>高齢者アカデミーの実施</p> <p>高齢者アカデミーの対象年齢を満70歳以上から65歳以上へと引き下げて開校し、高齢者の社会参加、生きがいづくりに寄与するとともに、地域社会に貢献する人材養成を行つた。 受講者数 1期生22人 2期生21人 3期生14人 4期生23人 合計80人</p>	<p>健康づくり・食育推進事業や認知症の人にやさしいまち・うじの推進により、時代に応じた健康新規の一貫的な推進や認知症の正しい知識の普及・啓発に努めることができた。さらに、鳳凰大学や高齢者アカデミーの実施により、高齢者の生きがいづくりや地域づくりを進めることができた</p> <p>今後は、認知症の人にやさしいまち・うじの推進などに引き続き取り組むとともに、障害者や高齢者など、誰もが生き生きと暮らせるまちづくりの推進に向けて、さらなる事業の充実を図る必要がある。</p>
	<p>高齢者保健福祉計画策定調査費</p> <p>音訊手段テイア・要約筆記ドランティア養成事業補助金</p> <p>認知症総合センター整備推進事業費</p> <p>歯科健診費</p> <p>福祉医療費支給費</p> <p>重度心身障害老人健康管理費</p> <p>人間ドック受診補助金</p>	<p>新規・拡充</p> <p>新規</p> <p>新規</p> <p>新規</p> <p>拡充</p> <p>拡充</p> <p>拡充</p>

<具体的施策>

		④多世代交流促進事業						
目標	地域コミュニティが希薄化するなか、世代間の交流が少なくなっている。多世代交流により、地域コミュニティの活性化や高齢者の生きがいの創出、若い世代への良き伝承につなげ、宇治への愛着の醸成とふるさと宇治の創生を図る。							
重要業績評価指標(KPI)	指標 市民の地域行事への参加割合	基準値 (H25年度) 24.9%	平成27年度 —	平成28年度 —	平成29年度 —	平成30年度 —	平成31年度 —	目標値 (H31年度) 30%
※平成29年度 アンケート調査実施（市民の地域行事への参加割合等を把握）								
平成28年度 主な事業	事業名	事業結果						
高齢者アカデミーの実施（再掲）		(2) —③掲載						
評価・課題	高齢者アカデミーの対象者年齢を満70歳以上から65歳以上へと引き下げることで、より幅広く受講者を募ることができる。高齢者の交流機会の創出と生きがいづくりの促進を図ることができた。今後は、京都文教大学・京都文教短期大学と連携し、受講者の申し込み状況の把握、分析に努め、効果的な運営手法について検討するとともに、多世代が交流できる新たな仕組みについても研究・検討する必要がある。							

(3) 「まちの魅力を高める都市基盤整備」～人・物の交流から活力ある宇治市を柔く～

目標	<p>人や物の交流が活発に行われることがまちの魅力を高める条件であり、そのためには都市基盤の整備が不可欠となる。今後の新名神高速道路の開通、JR奈良線の高速化・複線化第二期事業などにより、交通環境が大きく変化することが見込まれる。これらを見据えて、宇治のまちの発展を継続させるために真に必要な都市基盤の整備を推進する。 また、通勤・通学者による屋間人口はもとより、観光客をはじめ、さまざまな目的で本市を訪れる人（滞在人口）を増やし、人・物の交流や地域コミュニティの基盤強化により、まちの活性化を図る。</p>							
	数値目標	基準値	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	目標値
滞在人口率	0.89倍 (H26年)	0.88倍	0.87倍 (H28年8月までの実績)					0.93倍 (H31年)
屋間人口比率	87.8% (H22年)	88.1%	—					90.0% (H32年)
※滞在人口率：国（地域経済分析システム）のデータ収集方法の変更に伴い、基準値・目標値等の数値を変更								
評価・課題		<p>まちの魅力を高める都市基盤整備や、地域コミュニティ活性化に向けた各種取組を実施しているものの、滞在人口率は減少しているため、今後の交通環境の変化も見据えながら、さまざまな人が魅力を感じるまちづくりを進めが必要がある。</p>						
平成29年度 新規・拡充 事業		事業名	新規・拡充	事業概要				
		観光案内所管理運営費	拡充	京阪宇治駅前観光案内所の新設				
		地域公共交通活性化事業費	拡充	西小倉地区のりあい交通事業試験運行を予定				
		交通バリアフリー推進事業費	拡充	宇治市交通バリアフリー全体構想に基づき、伊勢田駅周辺地区の基本構想策定及びJR木幡駅バリアフリー化工事に対する補助				
		白川地区人にやさしい道づくり事業費	新規	白川区まちづくり協議会と協働した白川浜山本線における安全で安心な道づくりを実施				
		公共施設等アセットマネジメント推進費	新規	公共施設等総合管理計画に基づく更新・統廃合・長寿命化等の公共施設等アセットマネジメントを推進				
		地域コミュニティ活動支援事業費	拡充	地域の人材育成を図るための研修を実施				
		空き家等対策事業費	拡充	空き家等の有効活用に向けた調査・研究				

<具体的施策>

事業名	事業結果								
中小企業振興対策事業（商店街活性化施設） (平成28年度地方創生推進交付金対象)	商店街等が実施する活性化・情報化対策事業等に対して、14件11団体に対し補助を行ない、中小企業の振興に努めた。								
文化財指定推進事業	国宝の平等院鳳凰堂中堂壁画の修理、萬福寺の重要文化財聯（れん）の修理事業をはじめ、宇治市指定無形民俗文化財の大幣神事など所有者修理・維持等の12件に補助を行った。	また、平成25年9月の台風第18号接近による災害復旧として京都府史跡萬福寺境内の獅子林院災害復旧工事に補助を行った。	このほか、二子山古墳の史跡指定に向け用地測量を実施し、また二子山古墳フォーラムを開催し201人の市民が参加した。						
名勝指定検討事業	市内の未指定の景勝地から保全すべき名勝地を特定していくため、宇治の名勝地現状基本調査を実施し、個別名勝地についての俯瞰写真撮影や関連文献や資料の収集などを行った。								
宇治橋周辺地区道路整備事業		観光客等の周遊経路となつている宇治川左岸の市道宇治233号線において、景観に配慮した道路整備を行うため、道路の測量・詳細設計業務に着手し、関係機関等と協議を行った。							
評価・課題	歴史・観光資源等を活かした事業の実施や、商店街等が行う活性化対策事業等への補助による商店街等の振興を通じて、観光誘客に一定寄与することができた。回遊型の都市基盤の整備などもとに、新たな歴史資源を活かした取組や空き家を活かした取組のさらなる検討が必要である。	早期実施に向け取り組むとともに、引き続き研究等を進めることとする。							
平成29年度 新規・拡充 事業			<table border="1" data-bbox="1001 1123 1123 1886"> <tr> <td data-bbox="1001 1123 1091 1168">事業名</td> <td data-bbox="1091 1123 1123 1168">新規・拡充</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1001 1168 1091 1213">空き家等対策事業費</td> <td data-bbox="1091 1168 1123 1213">拡充</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1001 1213 1091 1258">観光案内所管理運営費</td> <td data-bbox="1091 1213 1123 1258">拡充</td> </tr> </table>	事業名	新規・拡充	空き家等対策事業費	拡充	観光案内所管理運営費	拡充
事業名	新規・拡充								
空き家等対策事業費	拡充								
観光案内所管理運営費	拡充								

<具体的施策>

②交通環境等充実事業																									
目標	人・物の交流はまちを活性化させるため、新名神高速道路の開通やJR奈良線高速化・複線化第二期事業などを見据えた都市基盤の整備を推進する。																								
重要業績評価指標(KPI)	<table border="1"> <thead> <tr> <th>指標</th><th>基準値</th><th>平成27年度</th><th>平成28年度</th><th>平成29年度</th><th>平成30年度</th><th>平成31年度</th><th>目標値</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>JR宇治駅乗客数</td><td>278万人 (H25年度)</td><td>314万人</td><td>H30年3月末 公表予定</td><td></td><td></td><td></td><td>目標達成 310万人 ↓ 320万人 (H31年度)</td></tr> <tr> <td>のりあい交通事業実施地区数</td><td>1地区 (H26年度)</td><td>1地区</td><td>1地区</td><td></td><td></td><td></td><td>3地区 (H31年度)</td></tr> </tbody> </table>	指標	基準値	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	目標値	JR宇治駅乗客数	278万人 (H25年度)	314万人	H30年3月末 公表予定				目標達成 310万人 ↓ 320万人 (H31年度)	のりあい交通事業実施地区数	1地区 (H26年度)	1地区	1地区				3地区 (H31年度)
指標	基準値	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	目標値																		
JR宇治駅乗客数	278万人 (H25年度)	314万人	H30年3月末 公表予定				目標達成 310万人 ↓ 320万人 (H31年度)																		
のりあい交通事業実施地区数	1地区 (H26年度)	1地区	1地区				3地区 (H31年度)																		
事業名	事業結果																								
JR奈良線高速化・複線化第二期事業	平成26年度からはじまった京都駅奈良線ホーム改良工事が完了した。市内では、沿線住民に対する工事説明会を5カ所で実施し、新田～城陽間で本体工事に着手した。																								
新名神高速道路関連都市基盤調査事業	府内関係課と連携を図り、新名神高速道路を活用した産業・都市基盤の整備について、先進都市の調査を行った。																								
宇治市交通バリアフリー全体構想の推進	平成26年度に設置した宇治市交通バリアフリー検討委員会において、宇治市交通バリアフリー全体構想を改訂し、「木幡」「黄檗」「伊勢田」の3地区を新たに重点整備地区に位置付けた。平成28年度には改訂された全体構想に基づき、黄檗駅周辺地区交通バリアフリー基本構想を策定した。JR宇治駅では、国・府・市が事業費の一部を補助し、内方線の整備が行われた。																								
平成28年度主な事業																									

事業名	事業結果								
平成28年度 地域での交通手段確保のための取組支援 主な事業	<p>明星町地域では自治会が主体となつて「宇治市のはい交通事業」を活用し、運行路線バスの運行を継続した。西小倉地域においても地域に合った運行路線バスを検討し始めました。憲島町地域において取り組んだことは、JR奈良線高架化・複線化第二期事業に取り組むことで、宇治橋通り商店街で行われるわんわんフェスタに参加し、公共交通の利用促進を呼びかけた。</p>								
評価・課題	<p>JR奈良線高架化・複線化第二期事業については、着実に事業進捗を図れている。また、地域での交通手段確保のための取組支援として、「宇治市のはい交通事業」及び「利用促進事業」に取り組むことにより、公共交通の確保に努めることができた。今後も、のりあい交通事業実施地区を増やすとともに、JR奈良線高架化・複線化第二期事業を着実に取り組み、交通環境を充実する中で、人・物の交流による、まちの活性化を図る。</p>								
平成29年度 新規・拡充 事業	<table border="1" data-bbox="774 1139 933 1902"> <thead> <tr> <th data-bbox="774 1139 933 1173">事業名</th> <th data-bbox="774 1173 933 1229">新規・拡充</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="774 1229 933 1262">地域公共交通活性化事業費</td> <td data-bbox="774 1262 933 1318">拡充</td> </tr> <tr> <td data-bbox="774 1318 933 1352">交通バリアフリー推進事業費</td> <td data-bbox="774 1352 933 1408">拡充</td> </tr> <tr> <td data-bbox="774 1408 933 1442">白川地区人にやさしい道づくり事業費</td> <td data-bbox="774 1442 933 1498">新規</td> </tr> </tbody> </table>	事業名	新規・拡充	地域公共交通活性化事業費	拡充	交通バリアフリー推進事業費	拡充	白川地区人にやさしい道づくり事業費	新規
事業名	新規・拡充								
地域公共交通活性化事業費	拡充								
交通バリアフリー推進事業費	拡充								
白川地区人にやさしい道づくり事業費	新規								

<具体的施策>

③公共施設アセツトマネジメントの導入

目標 重要業績指標 (KPI)	公共施設は、コミュニケーション活動の場として重要な役割を担う。時代に応じて求められる機能は変化しているため、市民アンケートやワーケーションなどを通じ、市民ニーズを把握し、時代に即した公共施設のあり方を検討する。						
	指標 公共施設等総合管理計画の策定	基準値 未策定 (H26年)	平成27年度 策定中	平成28年度 策定中	平成29年度 策定中	平成30年度 策定中	平成31年度 策定 (H31年)
平成28年度 主な事業	事業名 公共施設等総合管理計画策定事業						事業結果 公共施設等総合管理計画の策定並びにデータの分析を行うとともに、宇治市都市部に開設する既存資料などの集約並びにデータの分析を行うとともに、宇治市公共施設等総合管理計画の策定を行った。また、市民アンケートを実施するとともに、平成28年12月から今後の公施設等のあり方を市民とともに考へる各種市民懇談会等を行った。
評価・課題 時期	公共施設等総合管理計画の策定とともに、今後の公共施設等のあり方を市民とともに考へる市民意見を聞く機会やともに、引き続き、平成29年度中の計画策定を目指し取組を進める。						
平成29年度 新規・拡充 事業	事業名 公共施設等アセツトマネジメント						新規・拡充 新規

<具体的な施策>

④地域コミュニティの活性化																									
目標	市民主体による地域コミュニティの活性化を図るため、これらを担う人材の発掘・育成など、支援策の充実に取り組む。																								
重要業績評価指標(KPI)	<table border="1"> <thead> <tr> <th>指標</th><th>基準値</th><th>平成27年度</th><th>平成28年度</th><th>平成29年度</th><th>平成30年度</th><th>平成31年度</th><th>目標値</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>市民の地域行事への参加割合</td><td>24.9% (H25年度)</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td><td>30% (H31年度)</td></tr> <tr> <td>自主防災組織率</td><td>69.6% (H26年度)</td><td>69.9%</td><td>71.70%</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td><td>79.0% (H31年度)</td></tr> </tbody> </table> <p>*平成29年度 アンケート調査実施予定（市民の地域行事への参加割合等を把握）</p>	指標	基準値	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	目標値	市民の地域行事への参加割合	24.9% (H25年度)	—	—	—	—	—	30% (H31年度)	自主防災組織率	69.6% (H26年度)	69.9%	71.70%	—	—	—	79.0% (H31年度)
指標	基準値	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	目標値																		
市民の地域行事への参加割合	24.9% (H25年度)	—	—	—	—	—	30% (H31年度)																		
自主防災組織率	69.6% (H26年度)	69.9%	71.70%	—	—	—	79.0% (H31年度)																		
平成28年度 主な事業	<table border="1"> <thead> <tr> <th>事業名</th><th>事業結果</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>防災活動を通じた地域コミュニティづくりの 支援</td><td>地域における自主的な防災訓練及び防災知識の啓発活動などを実施する町内会・自治会等に対しても、防災訓練及び講演会などの取組に必要な事業費の1/2分の1(世帯数で上限を設定)を毎年助成する制度を創設し、自主防災組織の育成を行った。 ・平成28年度補助金交付状況 36団体 1,143千円</td></tr> <tr> <td>地域コミュニティ活動支援事業</td><td>コミュニティの先進地視察、調査・研究等を行い、地域コミュニティの活性化に向けた施策案を検討した。 また、仕組みづくりに向けた研修・講演等を行った。 <市管理職研修> テーマ「公務員に求められる21世紀型スキル－市民協働を進めるために－」 日時 平成29年2月2日（木） <講演会> テーマ「協力・共同の地域づくりから生きがいへ」 日時 平成29年2月25日（土）</td></tr> </tbody> </table>	事業名	事業結果	防災活動を通じた地域コミュニティづくりの 支援	地域における自主的な防災訓練及び防災知識の啓発活動などを実施する町内会・自治会等に対しても、防災訓練及び講演会などの取組に必要な事業費の1/2分の1(世帯数で上限を設定)を毎年助成する制度を創設し、自主防災組織の育成を行った。 ・平成28年度補助金交付状況 36団体 1,143千円	地域コミュニティ活動支援事業	コミュニティの先進地視察、調査・研究等を行い、地域コミュニティの活性化に向けた施策案を検討した。 また、仕組みづくりに向けた研修・講演等を行った。 <市管理職研修> テーマ「公務員に求められる21世紀型スキル－市民協働を進めるために－」 日時 平成29年2月2日（木） <講演会> テーマ「協力・共同の地域づくりから生きがいへ」 日時 平成29年2月25日（土）																		
事業名	事業結果																								
防災活動を通じた地域コミュニティづくりの 支援	地域における自主的な防災訓練及び防災知識の啓発活動などを実施する町内会・自治会等に対しても、防災訓練及び講演会などの取組に必要な事業費の1/2分の1(世帯数で上限を設定)を毎年助成する制度を創設し、自主防災組織の育成を行った。 ・平成28年度補助金交付状況 36団体 1,143千円																								
地域コミュニティ活動支援事業	コミュニティの先進地視察、調査・研究等を行い、地域コミュニティの活性化に向けた施策案を検討した。 また、仕組みづくりに向けた研修・講演等を行った。 <市管理職研修> テーマ「公務員に求められる21世紀型スキル－市民協働を進めるために－」 日時 平成29年2月2日（木） <講演会> テーマ「協力・共同の地域づくりから生きがいへ」 日時 平成29年2月25日（土）																								
平成29年度 新規・拡充 事業	地域防災組織育成に係る補助制度の総合的な見直しを行い、より多くの団体から申請を受け付けることにより、地域防災能力の向上を促進することことができた。さらに、職員研修や市民向けの講演会を通じて、地域コミュニティ活性化につながる人材育成を努めた。自主防災組織率も少しすづつ向上しておりますが、今後も引き続き、地域コミュニティ活性化に向けた取組についても引き続き実施する必要がある。																								
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>事業名</th><th>新規・拡充</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>地域コミュニティ活動支援事業費</td><td>拡充</td></tr> </tbody> </table>	事業名	新規・拡充	地域コミュニティ活動支援事業費	拡充																				
事業名	新規・拡充																								
地域コミュニティ活動支援事業費	拡充																								

(4) 「地域経済の活力づくり」～宇治～における安定した雇用を創出する～

目標	東京への一極集中を是正し、本市において安定した雇用を確保するために、まちとともに元気に成長する多様な企業が存続できるよう新たな産業を振興する。なお、安定した就労環境は、結婚・子育てなど自然増加を促していく要素において重要な条件であるとともに京都府が実施した少子化要因実態調査によつて確認されていることから、本市においては安定した雇用創出を図る。																														
数値目標	<table border="1"> <thead> <tr> <th>数値目標</th><th>基準値</th><th>平成27年度</th><th>平成28年度</th><th>今後公表予定</th><th>平成29年度</th><th>平成30年度</th><th>平成31年度</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>市内従業者数</td><td>56,323人 (H24年)</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td><td>56,500人 (H34年)</td></tr> <tr> <td>市内総生産</td><td>5,367億円 (H24年)</td><td>5,762億円 (H25年)</td><td>—</td><td>今後公表予定</td><td>—</td><td>—</td><td>5,900億円 (H31年)</td></tr> </tbody> </table>							数値目標	基準値	平成27年度	平成28年度	今後公表予定	平成29年度	平成30年度	平成31年度	市内従業者数	56,323人 (H24年)	—	—	—	—	—	56,500人 (H34年)	市内総生産	5,367億円 (H24年)	5,762億円 (H25年)	—	今後公表予定	—	—	5,900億円 (H31年)
数値目標	基準値	平成27年度	平成28年度	今後公表予定	平成29年度	平成30年度	平成31年度																								
市内従業者数	56,323人 (H24年)	—	—	—	—	—	56,500人 (H34年)																								
市内総生産	5,367億円 (H24年)	5,762億円 (H25年)	—	今後公表予定	—	—	5,900億円 (H31年)																								
	※市内従業者数：平成24年経済センサスの数値																														
	※市内総生産：京都府市町村民経済計算の数値																														
評価・課題	安定した雇用を創出するため、新たに実施した中小企業の人材確保策をはじめ、雇用・就職機会の創出を目的とした各種事業の実施により、雇用拡大や地域経済の活性化に向けた取組を進めることができた。今後は、産業戦略策定等を通じて、新たな産業の振興等の施策の検討が必要がある。																														
平成29年度新規・拡充事業	<table border="1"> <thead> <tr> <th>事業名</th><th>事業概要</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>産業戦略策定準備費</td><td>新規・拡充 産業戦略の策定に向け、地域産業連関表を分析</td></tr> <tr> <td>宇治市農産物普及促進事業費</td><td>拡充 市内産農産物の普及促進のための取組を実施</td></tr> <tr> <td>中小企業創業支援事業費</td><td>新規 創業初期の経営安定化、地域経済の活性化等を目的とした補助</td></tr> </tbody> </table>							事業名	事業概要	産業戦略策定準備費	新規・拡充 産業戦略の策定に向け、地域産業連関表を分析	宇治市農産物普及促進事業費	拡充 市内産農産物の普及促進のための取組を実施	中小企業創業支援事業費	新規 創業初期の経営安定化、地域経済の活性化等を目的とした補助																
事業名	事業概要																														
産業戦略策定準備費	新規・拡充 産業戦略の策定に向け、地域産業連関表を分析																														
宇治市農産物普及促進事業費	拡充 市内産農産物の普及促進のための取組を実施																														
中小企業創業支援事業費	新規 創業初期の経営安定化、地域経済の活性化等を目的とした補助																														

<具体的施策>

①産業活性化事業																									
目標	安定した雇用を創出するため、地域資源を活かした新たな産業の創出や企業の発展を支援するとともに、市内経済の構造を分析し、地域経済の好循環を促進する。																								
重要業績評価指標(KPI)	<table border="1"> <thead> <tr> <th>指標</th><th>基準値</th><th>平成27年度</th><th>平成28年度</th><th>平成29年度</th><th>平成30年度</th><th>平成31年度</th><th>目標値</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>海外販路における取引数※宇治商工会議所が実施する販路開拓数</td><td>6社41品目(H26年度)</td><td>22社 154品目</td><td>12社 51品目</td><td></td><td></td><td></td><td>25社以上 品目以上 (H31年度)</td></tr> <tr> <td>農産物の直売所数</td><td>0箇所 (H26年度)</td><td>0箇所</td><td>0箇所</td><td></td><td></td><td></td><td>1箇所以上 (H31年度)</td></tr> </tbody> </table>	指標	基準値	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	目標値	海外販路における取引数※宇治商工会議所が実施する販路開拓数	6社41品目(H26年度)	22社 154品目	12社 51品目				25社以上 品目以上 (H31年度)	農産物の直売所数	0箇所 (H26年度)	0箇所	0箇所				1箇所以上 (H31年度)
指標	基準値	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	目標値																		
海外販路における取引数※宇治商工会議所が実施する販路開拓数	6社41品目(H26年度)	22社 154品目	12社 51品目				25社以上 品目以上 (H31年度)																		
農産物の直売所数	0箇所 (H26年度)	0箇所	0箇所				1箇所以上 (H31年度)																		
平成28年度主な事業	<table border="1"> <thead> <tr> <th>事業名</th><th>事業結果</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>産業連閣表策定事業（再掲）</td><td>(1) →⑤掲載</td></tr> <tr> <td>六次産業化推進事業（再掲）</td><td>(1) →⑤掲載</td></tr> <tr> <td>商業活力再生支援事業 (平成28年度地方創生推進交付金対象)</td><td>創業分野における創業・企業支援や地元事業者の新商品創出促進の強化、小規模事業者の経営改善等を図るための特別指導事業を行った。 ・京都府物産展in台湾(出品事業所15社うち宇治8社) ・地場産品PR事業(参加企業11事業者) ・若手後継者育成事業(受講者数16名)</td></tr> <tr> <td>ベンチャー企業育成支援事業</td><td>宇治ベンチャー企業育成工場の入居企業に対して経営・販路拡大等の伴走型支援を行った。また、セミナーの実施及び年間延べ100社の市内企業に対して、市や国・府の補助制度等を紹介するなど、市内既存企業にも支援を行つた。</td></tr> </tbody> </table>	事業名	事業結果	産業連閣表策定事業（再掲）	(1) →⑤掲載	六次産業化推進事業（再掲）	(1) →⑤掲載	商業活力再生支援事業 (平成28年度地方創生推進交付金対象)	創業分野における創業・企業支援や地元事業者の新商品創出促進の強化、小規模事業者の経営改善等を図るための特別指導事業を行った。 ・京都府物産展in台湾(出品事業所15社うち宇治8社) ・地場産品PR事業(参加企業11事業者) ・若手後継者育成事業(受講者数16名)	ベンチャー企業育成支援事業	宇治ベンチャー企業育成工場の入居企業に対して経営・販路拡大等の伴走型支援を行った。また、セミナーの実施及び年間延べ100社の市内企業に対して、市や国・府の補助制度等を紹介するなど、市内既存企業にも支援を行つた。														
事業名	事業結果																								
産業連閣表策定事業（再掲）	(1) →⑤掲載																								
六次産業化推進事業（再掲）	(1) →⑤掲載																								
商業活力再生支援事業 (平成28年度地方創生推進交付金対象)	創業分野における創業・企業支援や地元事業者の新商品創出促進の強化、小規模事業者の経営改善等を図るための特別指導事業を行った。 ・京都府物産展in台湾(出品事業所15社うち宇治8社) ・地場産品PR事業(参加企業11事業者) ・若手後継者育成事業(受講者数16名)																								
ベンチャー企業育成支援事業	宇治ベンチャー企業育成工場の入居企業に対して経営・販路拡大等の伴走型支援を行った。また、セミナーの実施及び年間延べ100社の市内企業に対して、市や国・府の補助制度等を紹介するなど、市内既存企業にも支援を行つた。																								

事業名	事業結果								
女性の起業支援（ここからチャレンジ相談）	男女共同参画社会の実現に向けた協働のまちづくりを推進するため、NPOや市民団体等の育成を図るとともに、女性のさまざまな分野へのチャレンジを支援した。 ・ここからチャレンジ相談（全24回　うち2回出前相談）延べ110人参加								
新規就農者確保事業	新規就農者8人にに対し、青年就農給付金（経営開始型）を給付した。 給付対象者8人のうち7人に1,500千円をそれぞれ給付し、1人に1,219千円を給付した。								
宇治市農産物普及促進事業	地産地消への市民の関心を高めるとともに、地元農産物の普及や健康・食文化の啓発を図るため、関係団体等の協力を得て、各種講座、直売会を開催した。								
ベンチマーク調査	ベンチマーク調査 今後は、100社訪問で把握した企業ニーズに即した支援策を策定する。 構造を分析することで効果的な産業戦略を策定し、地域経済の活性化を図る。								
評価・課題									
平成29年度 新規・拡充 事業	<table border="1"> <thead> <tr> <th>事業名</th> <th>新規・拡充</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>産業戦略策定準備費</td> <td>新規</td> </tr> <tr> <td>宇治市農産物普及促進事業費</td> <td>拡充</td> </tr> <tr> <td>中小企業創業支援事業費</td> <td>新規</td> </tr> </tbody> </table>	事業名	新規・拡充	産業戦略策定準備費	新規	宇治市農産物普及促進事業費	拡充	中小企業創業支援事業費	新規
事業名	新規・拡充								
産業戦略策定準備費	新規								
宇治市農産物普及促進事業費	拡充								
中小企業創業支援事業費	新規								

<具体的施策>

②雇用促進事業

就業に必要な知識・技術を習得するための研修やセミナーを実施するとともに、若者から高齢者、女性や障害のあるなどあらゆる世代・人の市域内雇用の創出と拡充を促進する。

目標 重要業績 評価指標 (KPI)	平成27年度						目標値 75.0% (H32年)
	指標	基準値	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	
20歳代後半から30歳代前半の就業率※国勢調査	72.6% (H22年)	74.6%	—				
合同企業説明会延べ参加企業数	0社 (H26年度)	—	16社				20社 (H28～31年度)
非農業者の延べ就農者数	0人 (H26年度)	0人	0人				5人 (H27～31年度)

事業名		事業結果
就労支援事業		<ul style="list-style-type: none"> ・城南職業訓練センターへの補助および市政だよりへの講座掲載 ・出張就労相談会（毎月2回開催、相談件数50件） ・会社説明会（全11回開催、参加企業50社、参加者84人）
企業立地促進助成事業		<ul style="list-style-type: none"> 市内に工場、事業所などを新設または増設した企業に対して操業支援助成金等を交付した。 ・交付社数 5社
平成28年度 主な事業 新規就農者定着促進事業 (平成28年度地方創生推進交付金対象) 障害者雇用月間・週間ににおける雇用促進の啓発		<p>新規就農者の受入農家を3戸認定している。希望するものは0人であった。</p> <p>市政だよりによる啓発及び障害者週間記念事業実行委員会の実施する事業への補助を実施した。</p>
宇治市シルバーパートナーセンター運営助成 に努めた。 ・会員数 645人 (男性 499人 女性 146人) (平成28年度末現在)		<p>(公社) 宇治市シルバーパートナーセンターの運営事業に対し助成を行い、育成・指導</p>

事業年度 主な事業	事業名	事業結果	
		評価	課題
平成28年度	中小企業人材確保支援事業	平成29年3月7日（火）にメルバルク京都（京都市下京区）において、「宇治市ものづくり企業合同企業説明会・面接会」を開催し、宇治市内企業16社が出展、76名の来場者があった。	中小企業の人材確保に向けて、新たに合同企業説明会・面接会を開催したほか、新規就農者定着促進に向けた取組を行うなど、雇用創出の拡充を図ることができた。 今後は、若者から高齢者、女性や障害のある人などあらゆる世代・人の雇用創出とともに、これまでの事業効果を検証しながら、引き続き、中小企業の人材確保に向けた取組が必要である。

(5) 「若い世代の就労・結婚・出産・子育ての希望をかなえる環境づくり』～子どもが輝く未来の宇治市を築く～

目標	京都府が実施した少子化要因実態調査によれば、本市が属する山城北地域の在住者の結婚意向は強い（すぐにでも結婚したいといふ回答比率が最も高い）。このような意向を後押しするような施策を用いて、宇治で結婚・出産・育児をしたいと思える若い世代の実現に向けた支援を実施する。																													
数値目標	<table border="1"> <thead> <tr> <th>数値目標</th><th>基準値</th><th>平成27年度</th><th>平成28年度</th><th>平成29年度</th><th>平成30年度</th><th>平成31年度</th><th>目標値</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>出生数</td><td>7,557人 (H22～26年)</td><td>1,369人</td><td>1,301人</td><td></td><td></td><td></td><td>7,850人 (H27～31年)</td></tr> <tr> <td>子どもを産み、育てやすい環境だと感じる人の割合</td><td>70.6% (H28年度)</td><td>—</td><td>70.6%</td><td></td><td></td><td></td><td>75.6% (H31年度)</td></tr> </tbody> </table>						数値目標	基準値	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	目標値	出生数	7,557人 (H22～26年)	1,369人	1,301人				7,850人 (H27～31年)	子どもを産み、育てやすい環境だと感じる人の割合	70.6% (H28年度)	—	70.6%				75.6% (H31年度)
数値目標	基準値	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	目標値																							
出生数	7,557人 (H22～26年)	1,369人	1,301人				7,850人 (H27～31年)																							
子どもを産み、育てやすい環境だと感じる人の割合	70.6% (H28年度)	—	70.6%				75.6% (H31年度)																							
評価・課題	<p>この間、子育て支援施策の充実に重点的に取り組んできたが、出生数については過去5年間の平均を下回っている。施策の効果が現れるまで一定の時間を要することや、国の施策による影響があるものの、子育てを担う若い世代の就労支援や結婚・出産・子育てなどで結果として支障など、出生数の増加につながる事業の実施が必要である。あわせて、若い世代の就労や子育て支援の充実など、宇治で結婚・出産・育児をしたいと思える若い世代の実現に向けた効果的な事業の検討・実施が必要である。</p>																													
平成29年度新規・拡充事業	<table border="1"> <thead> <tr> <th>事業名</th><th>新規・拡充</th><th>事業概要</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>妊娠歯科健診費</td><td>新規</td><td>妊娠期の口腔環境を良好にすることにより、妊婦及び胎児の健康を保ち、早産や低体重児出産のリスクを抑えるために健診費用を助成</td></tr> <tr> <td>民間保育所等施設整備費</td><td>拡充</td><td>待機児童対策として、定員増に向けた民間保育所等の増築に対して補助を実施</td></tr> <tr> <td>学校支援チーム活動費</td><td>拡充</td><td>教職員の福祉に対する知識・理解を深め、各学校における支援力を高め、各学校内での問題解決能力の向上に向け、スクール・ソーシャルワーカーによる校内研修を新たに実施</td></tr> </tbody> </table>						事業名	新規・拡充	事業概要	妊娠歯科健診費	新規	妊娠期の口腔環境を良好にすることにより、妊婦及び胎児の健康を保ち、早産や低体重児出産のリスクを抑えるために健診費用を助成	民間保育所等施設整備費	拡充	待機児童対策として、定員増に向けた民間保育所等の増築に対して補助を実施	学校支援チーム活動費	拡充	教職員の福祉に対する知識・理解を深め、各学校における支援力を高め、各学校内での問題解決能力の向上に向け、スクール・ソーシャルワーカーによる校内研修を新たに実施												
事業名	新規・拡充	事業概要																												
妊娠歯科健診費	新規	妊娠期の口腔環境を良好にすることにより、妊婦及び胎児の健康を保ち、早産や低体重児出産のリスクを抑えるために健診費用を助成																												
民間保育所等施設整備費	拡充	待機児童対策として、定員増に向けた民間保育所等の増築に対して補助を実施																												
学校支援チーム活動費	拡充	教職員の福祉に対する知識・理解を深め、各学校における支援力を高め、各学校内での問題解決能力の向上に向け、スクール・ソーシャルワーカーによる校内研修を新たに実施																												

<具体的施策>

①若い世代の就労支援事業																	
目標	結婚を妨げる要因の一つとして、雇用問題があることから、これらの解消に向けて、就業に必要な知識・技術を習得するための研修やセミナーを実施するとともに、若者の雇用の創出と拡充を促進する。																
重要業績評価指標(KPI)	<table border="1"> <thead> <tr> <th>指標</th><th>基準値</th><th>平成27年度</th><th>平成28年度</th><th>平成29年度</th><th>平成30年度</th><th>平成31年度</th><th>目標値</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>20歳代後半から30歳代前半の就業率 ※国勢調査</td><td>72.6% (H22年)</td><td>74.6%</td><td>—</td><td></td><td></td><td></td><td>75.0% (H32年)</td></tr> </tbody> </table>	指標	基準値	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	目標値	20歳代後半から30歳代前半の就業率 ※国勢調査	72.6% (H22年)	74.6%	—				75.0% (H32年)
指標	基準値	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	目標値										
20歳代後半から30歳代前半の就業率 ※国勢調査	72.6% (H22年)	74.6%	—				75.0% (H32年)										
平成28年度 主な事業	<table border="1"> <thead> <tr> <th>事業名</th><th>事業結果</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>就労支援事業（再掲）</td><td>(4) ②掲載</td></tr> <tr> <td>ひとり親家庭自立支援給付事業</td><td>ひとり親家庭の生活の負担軽減と自立支援を図るため、養成機関等において資格の取得のため講座を受講した場合に給付金を支給し、就職に有利で生活の安定に資する資格の取得を促進した。平成28年度から高等職業訓練促進給付の支給期間を2年から3年に拡大した。</td></tr> </tbody> </table>	事業名	事業結果	就労支援事業（再掲）	(4) ②掲載	ひとり親家庭自立支援給付事業	ひとり親家庭の生活の負担軽減と自立支援を図るため、養成機関等において資格の取得のため講座を受講した場合に給付金を支給し、就職に有利で生活の安定に資する資格の取得を促進した。平成28年度から高等職業訓練促進給付の支給期間を2年から3年に拡大した。										
事業名	事業結果																
就労支援事業（再掲）	(4) ②掲載																
ひとり親家庭自立支援給付事業	ひとり親家庭の生活の負担軽減と自立支援を図るため、養成機関等において資格の取得のため講座を受講した場合に給付金を支給し、就職に有利で生活の安定に資する資格の取得を促進した。平成28年度から高等職業訓練促進給付の支給期間を2年から3年に拡大した。																
評価・課題	就労支援事業等を実施することで、女性や若者等の就労支援につながった。また、ひとり親家庭自立支援の給付について支給期間を延長する拡充等に取り組み、自立支援を図ることができる。 今後も引き続き、若者の雇用の創出と拡充を促進する事業を実施する必要がある。																

<具体的施策>

②結婚・出産支援事業																	
目標	少子化の要因の一つとして、20歳代後半から30歳代の未婚率が高まっていることや少産化があることから、これらの解消に向け て、字治で結婚・出産したいと思えるイメージ形成とそれらを実現する支援を実施する。																
重要業績 評価指標 (KPI)	<table border="1"> <thead> <tr> <th>指標</th><th>基準値</th><th>平成27年度</th><th>平成28年度</th><th>平成29年度</th><th>平成30年度</th><th>平成31年度</th><th>目標値</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>子どもを産み、育てやすい環境 だと感じる人の割合</td><td>70.6% (H28年度)</td><td>—</td><td>70.6%</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td><td>75.6% (H31年度)</td></tr> </tbody> </table>	指標	基準値	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	目標値	子どもを産み、育てやすい環境 だと感じる人の割合	70.6% (H28年度)	—	70.6%	—	—	—	75.6% (H31年度)
指標	基準値	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	目標値										
子どもを産み、育てやすい環境 だと感じる人の割合	70.6% (H28年度)	—	70.6%	—	—	—	75.6% (H31年度)										
事業名	事業結果																
不妊治療補助事業	<p>不妊治療の保険診療分及び人工授精について、年間6万円（人工授精を含む場合 は10万円）を限度に、治療に要した医療費の自己負担の2分の1を助成した。 不育治療は1回の妊娠につき10万円までを限度に治療等に要した医療費の自己負 担額の2分の1を助成した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・助成件数 460件 																
平成28年度 主な事業	<p>保育所等に通う園児の保護者の経済的負担を軽減し、安心して子どもを産みみ育 てられる環境づくりを推進するため、18歳未満のこどもが3人以上いて、保育所等 を利用する第3子以降の保育料減免（無償化）を行った。</p> <p>対象世帯の保育所等保育料について、減免を行うことにより、多子世帯の經 済的負担の軽減に努めた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・減免対象人数 308人 ・減免額 60,824千円 																
第3子の保育料無償化の実施	<p>妊娠及びその夫を対象に、健やかな子どもの成長発達を促すことを目的とした 講座・相談を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・母子健康手帳GET記念日 参加者数 286人 																
パパマスター事業 (母子健康手帳GET記念日)																	

		事業結果
事業名	評価・課題	
はじめての絵本ふれあい事業 農業者等婚活支援事業	宇治で結婚・出産したいと思える支援として、新たな取組である農業者等婚活支援により出会い系を提供することもに、不妊治療経費の助成、多子世帯に対する保育料の助成などの実施により経済的負担の軽減を図ることができた。また、妊娠や出産等への講座・相談や健診時の絵本配付により、父母ともに子育てするという意識の醸成や健全な親子の関係づくりを促進することができた。 今後は、市民ニーズも踏まえる中で、事業効果を検証しながら、効果的な結婚・出産支援事業の検討が必要である。	
平成28年度 主な事業	平成29年度 新規・拡充 事業	事業名
		新規・拡充 新規
		妊婦歯科健診費

<具体的施策>

目標		③子育て支援環境充実事業					
重要業績評価指標(KPI)		子育てを担う世代が安心して出産・育儿を行うことができるよう、子育てに関する相談の充実や待機児童対策などの環境整備を図る。					
指標	基準値	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	目標値
子どもを感じる人の割合 子どもらしさみみ、育てやすい環境 だと感じる人の割合 (H28年度)	70.6% (H28年度)	—	70.6%				75.6% (H31年度)
待機児童数 (国定基準後) (H26.4)	0人 (H26.4)	0人	0人				0人 (H32.4)
※国定基準：他に利用可能な保育所等があるにも関わらず、特定の保育所等を希望しているものや、家庭的保育等を利用しているものなどは、待機児童数に含めない。							
事業名		事業結果					
子育て支援環境整備事業 (平成28年度地方創生推進交付金対象)		子どもと一緒に来庁される方への利便性向上のため、市役所庁舎及び議会棟内のトイレに乳幼児用子エア及びおむつ交換台を設置した。 ・設置数 乳幼児用チエア 18台、おむつ交換台 14台					
子育て支援環境整備事業 (平成28年度地方創生推進交付金対象)		子育て家庭への支援の充実を図るため、市役所1階市民交流ロビーにおいて開設している「来庁者子育て支援コーナー」に子育て支援総合コーディネーター(専門相談員)と保育士を配置し、来庁者の子どもの一時預かり及び乳幼児用チエアの貸出しを実施した。 ・職員配置 保育士2人 ・子育て支援総合コーディネーター(専門相談員) 1人 (週2日) ※地域子育て支援基幹センターにも週1日配属 ・利用人数 預かり 1,947人 ・相談 1,250人					
子育て支援総合コーディネート事業 平成28年度 主な事業		保護者の就労と子育て等の両立を支援し、安心して働くことのできる環境をつくるため、子育て等の援助を行いたい人と受けたい人との連携を構成する会員組織である「アミリー・サポート・センター」において、地域での会員相互間の活動を支援する。JR宇治駅前市民交流プラザが「ゆめりあうじ」に事務局を設置している。 ・援助会員数128人 依頼会員数1,412人 利用件数1,296件					
ファミリー・サポート・センター運営事業							

事業名	事業結果	地域子育て支援拠点事業				平成28年度 主な事業
		名称	運営方法	ひろば延べ 利用者数(人)	相談件数 (件)	
地域における子育ての交流等を促進する子育て支援拠点を設置し、地域の子育て支援機能を充実する子育て支援拠点を図ることを目的とする。	地域における子育ての交流等を促進する子育て支援拠点では、子育て家庭の親とその子どもが気軽に集い、相互に講習会やかな子育て支援拠点では、子育て家庭の親とその子どもが相談及び情報の提供、会合的な交流の実施などを図る。また地域子育て支援施設を総合的に推進する。	1. 地域子育て支援基幹センター 2. 西部地域子育て支援センター 3. 南部地域子育て支援センター 4. 東部地域子育て支援センター 5. 北部地域子育て支援センター 6. りぽん 7. ぶんきょうにこにこルーム 8. ひあにしおぐら	直営 委託	8,726 6,119 552 7,256 8,302 8,001 8,985 1,108	568 85 26 170 164 383 179 472	生後4ヶ月になるまでの子どもがいる家庭を対象に訪問し、子育てに関する悩み及び不安を聞き、子育て支援に関する情報提供を行うとともに、子ども及びその保護者の心身の状況並びに養育環境などの把握を行い、支援が必要な家庭に親切なサービスの提供につなげた。親の育児不安の軽減と、子育て支援に関する必要な情報提供を行い、支援が必要な家庭に対しては適切なサービス提供に結び付ける。
地域子育て支援拠点事業	地域における子育ての交流等を促進する子育て支援拠点を設置し、地域の子育て支援機能を充実する子育て支援拠点を図ることを目的とする。	記念品等送付世帯数 ・情報誌送付世帯数	1,180世帯 6,915世帯	子どもが生まれた家庭に子どもを生み育てる喜びを感じてもらうように、お祝いの記念品等を贈るなどともに、子育て情報誌等で市の子育て支援事業を利用し、お祝いのメッセージカード、アルバム式身長計、ファミリー・サポート・センターの無料利用券などを送付した。	生後4ヶ月になるまでの子どもがいる家庭を対象に訪問し、子育てに関する悩み及び不安を聞き、子育て支援に関する情報提供を行うとともに、子ども及びその保護者の心身の状況並びに養育環境などの把握を行い、支援が必要な家庭に親切なサービスの提供につなげた。親の育児不安の軽減と、子育て支援に関する必要な情報提供を行い、支援が必要な家庭に対しては適切なサービス提供に結び付ける。	・記念品等送付世帯数 ・情報誌送付世帯数
しあわせ子育ち・子育て応援事業	地域における子育ての交流等を促進する子育て支援拠点を設置し、地域の子育て支援機能を充実する子育て支援拠点を図ることを目的とする。	乳幼児全戸訪問事業	519件	子どもが生まれた家庭に子どもを生み育てる喜びを感じてもらうように、お祝いの記念品等を贈るなどともに、子育て情報誌等で市の子育て支援事業を利用し、お祝いのメッセージカード、アルバム式身長計、ファミリー・サポート・センターの無料利用券などを送付した。	生後4ヶ月になるまでの子どもがいる家庭を対象に訪問し、子育てに関する悩み及び不安を聞き、子育て支援に関する情報提供を行うとともに、子ども及びその保護者の心身の状況並びに養育環境などの把握を行い、支援が必要な家庭に親切なサービスの提供につなげた。親の育児不安の軽減と、子育て支援に関する必要な情報提供を行い、支援が必要な家庭に対しては適切なサービス提供に結び付ける。	・記念品等送付世帯数 ・情報誌送付世帯数

事業名	事業結果										
第3子の保育料無償化の実施（再掲）	(5) -②掲載										
小学校内での育成学級	<p>宇治市立小学校に就学する児童であつて、下校しても保護者の就労及び疾病などの健全な育成を図る。</p> <p>放課後留守家庭児童の健全育成のため育成学級を運営した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開設学校数 20校 学級数 20学級 (39クラス) ・入級児童数 1,998人 (平成28年5月1日現在) <p>病気回復期等で集団保育が困難であり、保護者の勤務の都合等により家庭での保育が困難な児童に対して保育と看護を行う。平成8年9月から宇治病院、平成14年11月から浅妻医院、平成27年7月から宇治徳洲会病院の3カ所で実施している。</p>										
病児・病後児保育事業	<table border="1"> <thead> <tr> <th>実施施設</th> <th>延べ利用者数 (人)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>宇治市乳幼児健康支援ティザービスセンター（宇治病院）</td> <td>562</td> </tr> <tr> <td>浅妻医院／パピールーム（浅妻医院）</td> <td>749</td> </tr> <tr> <td>宇治徳洲会病院ひまわりーム（宇治徳洲会病院）</td> <td>720</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>2,031</td> </tr> </tbody> </table>	実施施設	延べ利用者数 (人)	宇治市乳幼児健康支援ティザービスセンター（宇治病院）	562	浅妻医院／パピールーム（浅妻医院）	749	宇治徳洲会病院ひまわりーム（宇治徳洲会病院）	720	合計	2,031
実施施設	延べ利用者数 (人)										
宇治市乳幼児健康支援ティザービスセンター（宇治病院）	562										
浅妻医院／パピールーム（浅妻医院）	749										
宇治徳洲会病院ひまわりーム（宇治徳洲会病院）	720										
合計	2,031										
平成28年度 主な事業	<p>乳幼児の健康新持進と子育て支援を図ることを目的に、平成5年10月1日から乳幼児医療助成事業を実施している。対象者の子育て家庭の経済的負担を軽減するため、自己負担分から一部負担金を控除して支援医療費受給者証を交付する。小学生及び中学生に京都子育て支援医療費受給者証を交付する。申請に基づいて乳幼児の健診費用を償還給付方式で助成を行う。</p> <p>申請し、現物給付方式か現金給付方式で支給する。自己負担分のうち一部負担金を除いて助成を行った。</p> <p>・受給者数 21,114人 扶助費 444,148千円</p> <p>児童の病気回復期等における保護者の就労を支援するため、市内の医療機関で病児保育を実施した。なお、平成28年度から、対象児童を小学6年生までに拡大した。</p> <p>乳幼児健康支援一時預かり事業</p>										

事業名	事業結果	
	事業内容	実績
放課後児童健全育成事業補助金	育成学級の定員を超える児童を受け入れる民間事業者に補助を行い、総合的な放課後児童健全育成事業の届出をしている民間事業者に対し、補助を行った。 補助対象民間事業者数 3法人 補助対象児童数 延べ2,685人	育課後児童健全育成事業の届出をする。1人あたりの面積などの条例基準を満たし、放課後児童補助対象民間事業者数延べ2,685人
平成28年度主な事業	これまでの事業の継続実施に加えて、新たに育成学級の定員を超える児童を受け入れる民間事業者への補助制度の創設や公共施設への子育て支援設備の設置を行うとともに、病児保育の時間延長及び対象の拡大を図るなど、各種施策を充実する中で、子育て支援環境の充実を図ることことができた。また、待機児童数（国定義後）についても0人を達成することができた。今後も、市民ニーズの把握・分析に努めながら、各種事業の充実を図るとともに、保育ニーズの高まりにより平成29年度において待機児童（国定義後）が発生していることも踏まえの中で、待機児童対策についても重点的に取り組む必要がある。	評価・課題

事業名	新規・拡充
民間保育所施設整備費	新規・拡充

<具体的施策>

④学習環境等充実事業

宇治の未来を担う子どもを育むため、市内大学と連携した教育の実施や専門家による支援チームの設置など、学習環境の充実を図る。

目標	重要業績評価指標(KPI)	指標	基準値	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	目標値
	理科が「好き」な児童生徒の割合	小学校6年生 (京都府平均:78.8%) 中学校3年生 (京都府平均:55.3%)(H24年度)	小学校6年生 (京都府平均:82.0%) 中学校3年生 (京都府平均:55.3%)	79.3% 均:78.8%	77.3% 均:82.0%	—	—	—	京都府平均以上(H33年度)
事業結果									
<p>事業名</p> <p>学校支援チーム活動事業</p> <p>英語指導助手設置事業</p> <p>児童・生徒の国際理解教育とコミュニケーション能力の向上を図るために、JETプログラムで招致した英語指導助手(AET)10人を、幼稚園、小・中学校に派遣しました。また、教職員研修で活用するとともに、生涯学習の一環として市民への学習機会での活用を図った。</p> <p>支援チーム会議開催数 14回</p>									

事業名	事業結果	事業結果	事業結果	事業結果
スクール・サイエンス・サポート事業	<p>京都大学宇治キャンパスとの連携協力により、児童・生徒の「知りたい」、「学びたい」という学力向上の第一歩となる科学に対する興味・関心を高める活動へと、京都大学宇治キャンパスによる出前授業・公開授業、中学校部活動への支援、施設利用・見学などの取組を進めます。</p> <p>・宇治市小学校理科教室（京都大学宇治キャンバス）市立小学校5・6年生 20校 152名</p> <p>・京都大学施設訪問（京都大学宇治キャンバス） 工学研究所 南小倉小学校5年生 36名 化学研究所 北小倉小学校5年生 42名 ・宇治市中学生理科教室（宇治黄檗中学校理科室） 市立中学校理科教員 3校 22名 ・理科教育研修会（京都大学宇治キャンバス） 市立小中学校教員 34名</p>	<p>特別支援教育体制を推進し、発達障害者へ支援を行うため、市立小学校17校・中学校8校（京都府特別支援教育充実事業対象校・インクルーシブ教育システムを導入する合理化体制を整備した。）に支援員を配置しました。</p> <p>中学校で改修課題を図るため、児童・生徒の個別の指導計画に基づいて、支援員が授業の指導補助及び個別指導などを行つた。</p> <p>・いきいき学級支援員設置対象校における通常学級で特別支援が必要な児童・生徒の割合 10.7%</p> <p>・個別の指導計画の作成数 670人（55.6%）</p>	<p>（2）一②掲載</p>	<p>児童・生徒の基礎学力の定着・向上のため、小・中学校の学校図書館図書を充実させるとともに、学校司書の配置と学校図書館ボランティアの養成のため、希望する保護者・市民が必要な知識・技術を修得得する講座を開催する。</p> <p>・図書館事務員7校及び代表校に学校司書を配置し、各学校を巡回して児童・生徒の学習活動及び読書活動の充実を図った。</p> <p>「図書館の設置及び運営上の望ましい基準」に基づき、利用者及び社会の多様化に対応するため（仮称）宇治市図書館事業計画を策定するため図書館市民ニーズ調査及び利用アンケートを実施した。</p>

事業名	事業結果	
	事業内容	実績
図書に触れる環境づくり 平成28年度 主な事業	<p>市民や利用者の読書活動、生涯学習、課題解決や情報活用能力の向上を支援するため、図書、雑誌、郷土資料、行政資料等を幅広く収集保存し、これらの図書は利便性向上を図るために、4月から予約図書配本所を増設するとともに京都市図書館との相互利用を開始した。また、開館時間の延長を試行し効果や利用状況の検証を行った。</p> <p>さらには、テーマ図書展示、新刊案内やブックリスト配付による図書の紹介、図書館に親しみ本と出会うためのおはなし会やお楽しみ会、成人的生涯学習や読書活動を進めるとともに講演会や朗誦会、学校や地域への団体貸出など、児童や読書活動者までの読書や生涯学習の推進に努めた。</p>	
生活困窮者学習支援検討事業	<p>生活困窮世帯等の子どもたちの学習支援検討委員会を平成28年9月1日に設置した。</p> <p>合計3回の委員会開催を経て、「生活困窮世帯等の子どもたちの学習支援する提言」をいただいた。同提言を尊重して、生活困窮世帯等の子どもたちの学習支援の在り方を検討した。</p>	
評価・課題	<p>教員研修、小学生の施設訪問及び小中学生の理科教室など様々な取組により、児童・生徒の科学に対する興味・関心及び疑問に思つたことを追求する学びの意欲などの学力向上の意識を高めることができた。</p> <p>また、図書館においては、配本所の増設や京都市図書館との相互利用の開始、開館時間延長の試行実施により、利用者の利便性の向上に努めた。</p> <p>今後も宇治の未来を担う子どもを育むため、学校現場への支援の充実や生活困窮世帯等の子どもへの学習支援の実施など、さらなる学習環境の充実に努める必要がある。</p>	
平成29年度 新規・拡充 事業	事業名	新規・拡充
	学校支援チーム活動費	拡充

<具体的施策>

⑤保幼小中の連携教育推進事業

目標	就学前教育の充実と小・中学校の連携を図り、つまづきのない教育を支援する。																								
重要業績指標(KPI)	<table border="1"> <thead> <tr> <th>指標</th><th>基準値</th><th>平成27年度</th><th>平成28年度</th><th>平成29年度</th><th>平成30年度</th><th>平成31年度</th><th>目標値</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>中学校入学に対する不安割合</td><td>小学校6年生 34.1% 中学校1年生 28.1% (H26年度)</td><td>小学校6年生 34.7% 中学校1年生 25.8%</td><td>小学校6年生 34% 中学校1年生 25.4%</td><td></td><td></td><td></td><td>小学校6年生 : 30%以下 中学校1年生 : 25%以下 (H31年度)</td></tr> <tr> <td>保育所や幼稚園、家庭と連携して交換活動を実施している小学校の校数</td><td>全校実施 (H26年度)</td><td>全校実施</td><td>全校実施</td><td>全校実施</td><td>全校実施</td><td>全校実施 (H33年度)</td><td></td></tr> </tbody> </table>	指標	基準値	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	目標値	中学校入学に対する不安割合	小学校6年生 34.1% 中学校1年生 28.1% (H26年度)	小学校6年生 34.7% 中学校1年生 25.8%	小学校6年生 34% 中学校1年生 25.4%				小学校6年生 : 30%以下 中学校1年生 : 25%以下 (H31年度)	保育所や幼稚園、家庭と連携して交換活動を実施している小学校の校数	全校実施 (H26年度)	全校実施	全校実施	全校実施	全校実施	全校実施 (H33年度)	
指標	基準値	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	目標値																		
中学校入学に対する不安割合	小学校6年生 34.1% 中学校1年生 28.1% (H26年度)	小学校6年生 34.7% 中学校1年生 25.8%	小学校6年生 34% 中学校1年生 25.4%				小学校6年生 : 30%以下 中学校1年生 : 25%以下 (H31年度)																		
保育所や幼稚園、家庭と連携して交換活動を実施している小学校の校数	全校実施 (H26年度)	全校実施	全校実施	全校実施	全校実施	全校実施 (H33年度)																			
事業名	事業結果																								
小中一貫教育推進事業 平成28年度 主な事業	<p>義務教育9年間の学びの連続性を意識した系統的、継続的な指導を行い、子どもたちの学習意欲を高め、確かな学力を身に付けさせることをねらいとした小中一貫教育を推進した。中学校ブロックの全小・中学校において小中一貫教育を推進するにあたり、全中学校ブロックでチーフコーディネーターと教科連携教員を選任するため、全中学校負担非常勤講師を配置して、系統的・継続的指導を進めた。「宇治市小中一貫教育推進協議会」による取組状況の進行管理並びに各中学校ブロックでの広報・啓発を行った。</p>																								
保幼小連携事業	<p>保育所（園）・幼稚園と小学校との連携した指導方法について研修し、幼児期の教育と児童期の教育の接続の在り方について学ぶことを目的とした小学校教諭、幼稚園教諭、保育士による合同研修講座を実施した。 受講者 58名</p>																								
評価・課題	小中一貫教育の推進により、義務教育期間の連続性を考慮した指導等を実施することができた。中学校入学に対する不安割合は低下していることから、今後も引き続き小中一貫教育の推進を図り、つまづきのない教育を支援する必要がある。																								

<具体的な施策>

⑥地域等協働子育て環境充実事業

目標 子育てを担う世代が安心して育児ができるよう、育友会・PTAをはじめ、青少年健全育成協議会等の団体や、地域での取組などと協働し、地域で子育てを支える仕組みを構築する。

指標 重要業績 評価指標 (KPI)	基準値	平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度		目標値 小学校6年生 60%以上 中学校3年生 65%以上 (H33年度)
		小学校6年生 52.9%	中学校3年生 63.0% (H26年度)	小学校6年生 51.8%	中学校3年生 62.7%	小学校6年生 51.2%	中学校3年生 61.5%	小学校 62.6% (京都府平 均: 70.0%)	中学校 36.8% (京都府平 均: 45.6%)	小学校 64% (京都府平 均: 70.5%)	中学校 36% (京都府平 均: 43%)	
家庭学習の定着度の割合 児童生徒が地域活動に参加した割合	小学校 63.3% (京都府平 均: 71.4%) 中学校 33.5% (京都府平 均: 42.9% (H26年度))	小学校 62.6% (京都府平 均: 70.0%) 中学校 36.8% (京都府平 均: 45.6%)										京都府平均 以上 (H33年度)

事業名	事業結果
地域子育てひろば支援事業	<p>家族規模の縮小等により地域コミュニティが希薄化する中で、孤立しがちな子育て家庭を支援するため、「子育てひろば」の運営を促進し、地域における子育て家庭との子育て支援関係を作り上げる。地域住民による「子育てひろば」の運営に係る補助金を交付した。下村集会所、開業集会所、平町集会所、伊勢田北集会所、明星集会所問題行動及び不登校の未然防止を図るために、児童・生徒が身近に感じられる環境づくりを進めた。別室登校及び不登校傾向の児童・生徒を中心とした「心と学びのパートナー」を市内10中学校に派遣した。小学生の不登校増加に伴い、平成26年度は2小学校に、平成27年度からは4小学校に拡充し、計17名派遣した。</p> <p>兄姉的な若い世代の相談員を配置し、いつでも気軽に相談できる環境づくりを進めた。</p> <p>心と学びのパートナー派遣事業</p>

平成28年度
主な事業

事業名	事業結果																
	実施年	実施内容															
放課後子ども教室支援事業 家庭・地域の教育力向上検討事業	平成28年度 主な事業	<p>平日の放課後及び土曜日の午前中に、地域住民等で構成される推進組織の運営により、子どもにも安全・安心な居場所を提供し、自主的な学習及びスポーツ・文化活動、地域住民との交流活動などの支援を行つた。また、地域の人材を活用することにより、地域住民との連携を行つて、子どもが心豊かで健やかに育まれる環境づくりを進めることができた。</p> <table border="1"> <tr> <td>推進組織</td><td>北櫻つながりプロジェクト</td><td>笠二つ子クラブ</td></tr> <tr> <td>開催場所</td><td>北櫻島小学校</td><td>笠取第二小学校</td></tr> <tr> <td>開催期間</td><td>5月7日～29年3月1日</td><td>4月1日～29年3月30日</td></tr> <tr> <td>開催日数</td><td>23日</td><td>168日</td></tr> <tr> <td>参加人数</td><td>延べ1,393人</td><td>延べ1,351人</td></tr> </table> <p>平成25年度に実施した耐震診断の結果、耐震強度不足であることが判明した「青少年指導センター」について、現在の機能をベースとしながら、さらなる家庭・地域の教育力の向上を図るために方策を検討し、その方策を実施するための建物の建築計画を検討した。</p> <p>平成26年度に実施した耐震診断の結果、耐震強度不足であることが判明した「青少年指導センター」について、現在の機能をベースとしながら、さらなる家庭・地域の教育力の向上を図るために方策を検討し、その方策を実施するための建物の建築計画を検討した。</p> <p>安全・安心な保育所等の運営のため、各公立保育所(園)・民間認定こども園での保育所等安全運営支 援員の配置等に対し補助を行つた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公立保育所 8,713千円 ・保育所等安全運営支援員(有償ボランティア)の配置等を行つた。 ・民間保育所(園)・民間認定こども園 24,658千円 ・保育所等安全運営支援員(有償ボランティア)の配置等に対する補助を行つた。 <p>小中学校、幼稚園の安全・安心な教育環境の確保のため、学校運営支援員が見回りやカメラの監視等を行うことで不審者対策等を徹底する。 小学校(22校)、中学校(10校)、幼稚園(4園)で合計132名の学校運営支援員を登録し、半日(4時間)以上の活動を延べ13,509回行い、学校(園)内における安全管理体制の強化を図つた。</p> <p>「青バト」によるパトロールの実施 防犯推進連絡協議会、宇治市少年補導委員会などの団体、宇治市総務課等が青色回転灯を点けた車両を用いて、通学路を実施し、児童生徒、総務課の実施回数19回</p> <p>地域の見守り活動</p>	推進組織	北櫻つながりプロジェクト	笠二つ子クラブ	開催場所	北櫻島小学校	笠取第二小学校	開催期間	5月7日～29年3月1日	4月1日～29年3月30日	開催日数	23日	168日	参加人数	延べ1,393人	延べ1,351人
推進組織	北櫻つながりプロジェクト	笠二つ子クラブ															
開催場所	北櫻島小学校	笠取第二小学校															
開催期間	5月7日～29年3月1日	4月1日～29年3月30日															
開催日数	23日	168日															
参加人数	延べ1,393人	延べ1,351人															
評価・課題	平成28年度 主な事業	<p>地域住民が開設する「子育てひろば」に運営費等の補助を実施したことにより、交流及び情報交換などによつて子育て家庭の支援を促進できただ。また、社会教育の環境づくりを推進することができた。</p> <p>今後は、地域で子育てを支援する組織を構築するため、市民ニーズの把握、分析に努めながら、家庭学習の定着や地域活動への参加につながる事業を実施する必要がある。</p>															

国の方創生関連交付金を活用した事業結果

1. 地方創生加速化交付金（平成27年度）※補助率10/10

事業概要 ①オール宇治で取り組む「観光地域・しごと創生事業」～クールジャパンUJJIの加速化～	<p>本市の観光の強みを活かしながら、観光の弱みを解決するための事業を行うことで、観光客をはじめとした交流人口の増加を促し、観光を活用した地域経済の活性化・自立や雇用の創出に繋げるとともに、魅力あるふるさと宇治をめぐらすまちを目指すため、住民、観光協会、観光事業者、連携協定を結んでいる地元大学、小中学校、その他関係団体等との連携を強化し、一体となって事業を実施した。</p>			
	指標 重要業績評価指標(KPI)	基準値 (H26年)	実績値 (平成28年度)	目標値 (平成29年3月)
地域ブランド調査 魅力度全国ランキング	38位	52位	35位	
観光客の宇治市満足度（飲食・お土産・景観等）	69～95% (H23年度)	平成29年8月 下旬確定	全て75%以上	
観光客のリピータ割合	58% (H23年度)	平成29年8月 下旬確定	60%	
交流人口（観光入込客数）	5,201,764人 (H26年)	5,587,147人	6,000,000人	
事業結果	事業名	事業結果 掲載ページ	事業費（実績） (千円)	財源内訳 (千円)
	ちはや姫PR事業	2	4,200	交付金 一般財源 0
	魅力発信プロモーションビデオ制作費	2	5,000	0
	放ち鶴飼プロジェクト検討事業費	4	3,500	0
	観光駐車場等対策事業費	4	295	0
	観光開設施設整備費	4	1,674	0
	観光振興計画推進費	4	6,316	0
	観光活性化事業補助金	5	7,747	0

事業名	事業結果 掲載ページ	事業費（実績） (千円)	財源内訳 (千円)	
			交付金	一般財源
事業結果	観光情報発信事業費	5	6,987	6,987
	観光サイン等整備計画策定事業費	5	135	135
	観光インバウンド推進事業費	6	7,668	7,668
	源氏物語ミュージアム広報活動費	6	1,150	1,150
	源氏物語ミュージアムリニューアル事業費	12	4,968	4,968
	企画展示費	12	2,999	2,999
	「宇治学」推進事業費	20	7,142	7,142
	「宇治学」宇治の魅力体験支援事業費	20	1,534	1,534
	合計	61,315	61,315	0

市の魅力を市内外に広く発信するために、市宣传大使「ちはや姫」を活用した広報活動等を行うとともに、市のプロモーション動画を制作し配信を開始した。動画については、再生回数も多く、各種メディアにも取り上げられるなどの反響があり、市の認知度を向上させた。

また、本市の観光資源の強化として、人工孵化で繁殖した鶴飼による放ち鶴飼の実施に向けた取組や新たな観光資源であるアニメーションの活用、他団体との連携業務を行うとともに、観光シーズンにおける交通渋滞の緩和を図るため、各所に誘導看板を設置し、臨時駐車場の開設及び案内誘導を行った。

今後についても、宇治市内主要観光施設周辺で行った観光動向調査の分析を進め、更なる事業振興に取り組む必要がある。

評価・課題

②お茶の京都DMO地域活性化推進事業		<p>お茶の京都基本構想に基づく「お茶の京都マスター プラン」を策定し、宇治茶による地域振興を図る実施主体のひとつとして、戦略的な交流拠点づくりやお茶をテーマにした広域観光・地域活性化に係るDMO事業及び連携事業を進めた。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">事業概要</th><th rowspan="2">重要業績指標 (KPI)</th><th colspan="2">指標</th><th rowspan="2">目標値 (平成29年3月)</th></tr> <tr> <th>基準値</th><th>実績値 (平成28年度)</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>宇治茶販売額</td><td>6.4億円 (H26年)</td><td>6.4億円</td><td>6.9億円</td><td></td></tr> <tr> <td>観光消費額</td><td>90.7億円 (H26年)</td><td>107.9億円</td><td>105億円</td><td></td></tr> <tr> <td>観光入込客数</td><td>520万人 (H26年)</td><td>5,587,147人</td><td>600万人</td><td></td></tr> <tr> <td>外国人宿泊者数</td><td>2,692人 (H26年)</td><td>6,693人</td><td>3,321人</td><td></td></tr> </tbody> </table> <p>※本事業は、京都府を中心とした市町村で地域的に連携して取り組む事業 ※したがって、KPIにおいては、京都府において京都府全体会員の指標を定めることとともに、各市町村のKPIについても、京都府全体の目標値に基づき、各市町村に割り戻した数値として設定 ※観光入込客数以外のKPIの実績値は京都府による試算結果</p>					事業概要	重要業績指標 (KPI)	指標		目標値 (平成29年3月)	基準値	実績値 (平成28年度)	宇治茶販売額	6.4億円 (H26年)	6.4億円	6.9億円		観光消費額	90.7億円 (H26年)	107.9億円	105億円		観光入込客数	520万人 (H26年)	5,587,147人	600万人		外国人宿泊者数	2,692人 (H26年)	6,693人	3,321人																															
事業概要	重要業績指標 (KPI)	指標		目標値 (平成29年3月)																																																											
		基準値	実績値 (平成28年度)																																																												
宇治茶販売額	6.4億円 (H26年)	6.4億円	6.9億円																																																												
観光消費額	90.7億円 (H26年)	107.9億円	105億円																																																												
観光入込客数	520万人 (H26年)	5,587,147人	600万人																																																												
外国人宿泊者数	2,692人 (H26年)	6,693人	3,321人																																																												
事業結果		<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">事業名</th> <th rowspan="2">事業結果 掲載ページ</th> <th rowspan="2">事業費(実績) (千円)</th> <th colspan="2">財源内訳 (千円)</th> </tr> <tr> <th>交付金</th> <th>一般財源</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>お茶の京都DMO協議会負担金</td><td>8</td><td>2,680</td><td>2,680</td><td>0</td></tr> <tr> <td>お茶の京都観光協議会負担金</td><td>8</td><td>200</td><td>200</td><td>0</td></tr> <tr> <td>お茶の京都事業費補助金</td><td>8</td><td>500</td><td>500</td><td>0</td></tr> <tr> <td>宇治茶宣伝事業費</td><td>8</td><td>170</td><td>170</td><td>0</td></tr> <tr> <td>宇治茶普及宣伝費</td><td>9</td><td>1,313</td><td>1,313</td><td>0</td></tr> <tr> <td>宇治茶おもてなし推進事業費</td><td>9</td><td>150</td><td>150</td><td>0</td></tr> <tr> <td>宇治茶巡回ガイドツアーアクティビティ</td><td>10</td><td>8,000</td><td>8,000</td><td>0</td></tr> <tr> <td>宇治茶ブランド化推進事業費</td><td>20</td><td>246</td><td>246</td><td>0</td></tr> <tr> <td>市民観光ティアライズ事業費</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>合計</td><td></td><td>13,259</td><td>13,259</td><td>0</td></tr> </tbody> </table>					事業名	事業結果 掲載ページ	事業費(実績) (千円)	財源内訳 (千円)		交付金	一般財源	お茶の京都DMO協議会負担金	8	2,680	2,680	0	お茶の京都観光協議会負担金	8	200	200	0	お茶の京都事業費補助金	8	500	500	0	宇治茶宣伝事業費	8	170	170	0	宇治茶普及宣伝費	9	1,313	1,313	0	宇治茶おもてなし推進事業費	9	150	150	0	宇治茶巡回ガイドツアーアクティビティ	10	8,000	8,000	0	宇治茶ブランド化推進事業費	20	246	246	0	市民観光ティアライズ事業費					合計		13,259	13,259	0
事業名	事業結果 掲載ページ	事業費(実績) (千円)	財源内訳 (千円)																																																												
			交付金	一般財源																																																											
お茶の京都DMO協議会負担金	8	2,680	2,680	0																																																											
お茶の京都観光協議会負担金	8	200	200	0																																																											
お茶の京都事業費補助金	8	500	500	0																																																											
宇治茶宣伝事業費	8	170	170	0																																																											
宇治茶普及宣伝費	9	1,313	1,313	0																																																											
宇治茶おもてなし推進事業費	9	150	150	0																																																											
宇治茶巡回ガイドツアーアクティビティ	10	8,000	8,000	0																																																											
宇治茶ブランド化推進事業費	20	246	246	0																																																											
市民観光ティアライズ事業費																																																															
合計		13,259	13,259	0																																																											
評価・課題		<p>「宇治茶の普及とともに、心の心の醸成に関する条例」に基づき各種事業を実施したことにより、宇治茶の伝統及び茶葉の情報発信を図ることことができた。また、「俵玉」の商品化に取り組み、PRを通して、宇治茶のブランド価値を高めることにつながった。取組今後も宇治茶ブランドの確立に向け、生産農家の後継者育成のほか、「宇治碾茶」の商標登録に向けた取組を支援し、宇治茶の普及及び魅力プロモーションの効果を見極めながら実施する必要がある。</p>																																																													

2. 地方創生推進交付金（平成28年度） ※補助率1/2

事業概要 重要業績指標 (KPI)	京都全域において地域の文化資源を活用した観光振興や、文化の国際発信力の向上を図り、京都市に訪れる国内外の観光客をさらにおもに、それらを引き出しながら一元的に実施できる体制整備を進めた。						
数値目標	基準値	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	目標
観光客の宇治市満足度 (飲食・お土産・景観等)	69～95% (H23年度)	—	平成29年8月 下旬確定				全て85%以上 (H34年度)
観光客のリピーター割合	58% (H23年度)	—	平成29年8月 下旬確定				70% (H34年度)
交流人口（観光入込客数）	5,201,764人 (H26年)	5,598,011人	5,587,147人				7,500,000人 (H31年)
※平成28年度・平成29年度 観光動向調査実施（観光客の宇治市の満足度・リピーター割合等を把握）							
事業結果 評価・課題	事業名	事業結果 掲載ページ	事業費（実績） (千円)	財源内訳 (千円)			
	市内産宇治茶ブランド化推進事業費	12	250	116	134	交付金	一般財源
	宇治十帖スタンプラリー開催費	13	2,737	1,266	1,471		
	中小企業振興対策事業費	31	2,174	1,005	1,169		
	商業活力再生支援事業費	39	2,300	1,064	1,236		
	新規就農者定着促進事業費	38	0	0	0		
	子育て支援環境整備事業費	47	3,026	1,399	1,627		
			合計	10,487	4,850	5,637	
パークアンドライドやベビーシート等の設置により、観光客の受け入れ体制の強化や市内産茶葉のみを使用した「碾玉」の商品化により販売・PRを通して、宇治茶のブランド価値を高めることができた。また、「源氏物語のまちづくり」の定着を図ることができる。今後も、さらなる誘客に向け、宇治のブランド力を確固たるものとするため、生産農家の後継者育成など、効果的な事業の実施方法等を検討していく必要がある。							

重要業績評価指標(KPI)目標値修正一覧

指標	基準値	平成28年度	目標値	頁
魅力発信プラットフォーム参加団体数	0団体 (H26年度)	21団体	目標達成 20団体 ↓ 25団体 (H31年度)	2
ふるさと応援寄附件数	26件 (H26年度)	2,607件	目標達成 2,000件 ↓ 3,500件 (H31年度)	2
市営茶室対鳳庵外国人観光客数	6,059人 (H26年度)	8,442人	目標達成 7,500人 ↓ 9,000人 (H31年度)	6
源氏物語ミュージアムでの音声ガイダンス貸出件数	4,021件 (H26年度)	6,159件	目標達成 5,500人 ↓ 6,500人 (H31年度)	6
JR宇治駅乗客数	278万人 (H25年度)	314万人 (H27年度)	目標達成 310万人 ↓ 320万人 (H31年度)	30

(参考)上記修正事業でH27年度目標値修正

指標	基準値	平成27年度	目標値
ふるさと応援寄附件数	26件 (H26年度)	1,403件	目標達成 1,000件 ↓ 2,000件 (H31年度)
市営茶室対鳳庵外国人観光客数	6,059人 (H26年度)	7,198人	目標達成 6,500人 ↓ 7,500人 (H31年度)

人口動向分析

宇治市人口ビジョン及び社人研人口推計は、平成 22 年国勢調査の実績をベースに推計しています。表 1 のとおり、平成 27 年及び平成 28 年の人口は、宇治市人口ビジョン及び社人研人口推計を下回っており、予測を超える速さで人口減少が進んでいます。

次に、表 2 の人口動態の推移をみると、自然増減（出生－死亡）は減少し続けている一方で、社会動態（転入－転出）は、平成 24 年以降、転出超過が続いているものの、平成 28 年には転出超過の幅が縮小しており、また、人口動態全体においても、同様に平成 28 年には減少幅が縮小しています。

これらのことから、平成 27 年度以降の地方創生の取組の効果が一定、表れているものとも推測されますが、人口減少は進展していることからも、今後の人口動向を注視しながら、これまでの地方創生の取組を検証し、より効果的な施策が実施できるよう、継続・発展的に取り組む必要があります。

表 1 人口実績比較

	2010年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2030年	2040年	2060年
	平成22年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	平成31年	平成32年	平成42年	平成52年	平成72年
社人研 人口推計	189,609	188,165	187,556	186,947	186,338	185,728	185,119	173,524	158,048	125,697
宇治市人口 ビジョン	189,609	187,586	187,340	187,093	186,846	186,599	186,352	179,782	171,151	152,985
宇治市人口 (実績)	189,609	184,678	183,711							

※各年 10 月 1 日現在の人口

※平成 27 年の宇治市人口（実績）は国勢調査人口

※平成 28 年の宇治市人口（実績）は推計人口（京都府報告数値）

※推計人口：平成 27 年国勢調査人口をベースに、その後の自然・社会増減を反映した人口

表 2 人口動態の推移

	2010年	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年
	平成22年	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年
自然増減	168	56	-11	-135	-290	-344	-369
社会動態	-220	226	-524	-803	-656	-889	-580
合計	-52	282	-535	-938	-946	-1,233	-949

※自然増減は、当該年中（1 月～12 月）の「出生－死亡」の人数

※社会動態は、当該年中の（1 月～12 月）「転入－転出」の人数

